

平成26年12月24日（水）
平成26年度 第7回
大阪府河川整備審議会

資料 2

樫井川水系及び泉州地域における河川の 流域の概要について

【諮問】

1. 樫井川水系河川整備計画及び田尻川水系、男里川水系、茶屋川水系、番川水系における当面の治水目標・治水手法の設定について
2. 王子川水系河川整備計画について
3. 津田川水系河川整備計画について
4. 近木川水系河川整備計画について
5. 見出川水系河川整備基本方針及び河川整備計画について
6. 東川水系河川整備計画について
7. 芦田川水系河川整備計画について

【審議内容】

- ① 1のうち樫井川水系及び2～7（事業中または今後事業実施の予定あり）
⇒主に治水対策及び地震・津波対策について
⇒審議の流れ：河川整備計画策定
⇒今後の審議：治水対策 ⇒ 次回以降、部会、審議会にて当面の治水目標・手法の設定
地震・津波対策 ⇒ 次回以降、審議会にて考え方、整備内容について
- ② 1のうち田尻川水系、男里川水系、茶屋川水系、番川水系（当面事業実施の予定なし）
⇒主に治水対策について
⇒審議の流れ：当面の治水目標・手法の設定まで
⇒今後の審議：次回以降、部会、審議会にて当面の治水目標・手法の設定

※ 1月上・中旬に現地視察の予定

各河川の審議内容等

	河川名	治水対策検討必要の有無（事務局案） （全河川にて治水目標の設定は行う）	地震・津波対策事業実施予定 （現在設計中）	審議の流れ
1	王子川	なし	あり	整備計画策定
2	新王子川	なし	対象外	//
3	芦田川	なし H25.11河川整備計画（変更）策定済	あり	整備計画策定 （地震津波対策の記載がないため 追記の必要あり）
4	津田川	あり	あり	整備計画策定
5	近木川	なし	あり	整備計画策定
6	秬谷川	なし	対象外	//
7	見出川	なし	あり	整備計画策定
8	田尻川	なし	なし	当面の治水目標・手法まで
9	男里川	なし	なし	当面の治水目標・手法まで
10	金熊寺川	あり	対象外	//
11	山中川	なし	対象外	//
12	菟砥川	なし	対象外	//
13	茶屋川	なし	なし	当面の治水目標・手法まで
14	番川	あり	なし	当面の治水目標・手法まで
15	東川	あり	あり	整備計画策定
16	西川	なし	あり	//
17	樫井川	なし	なし	整備計画策定
18	新家川	あり（事業実施中）	対象外	//

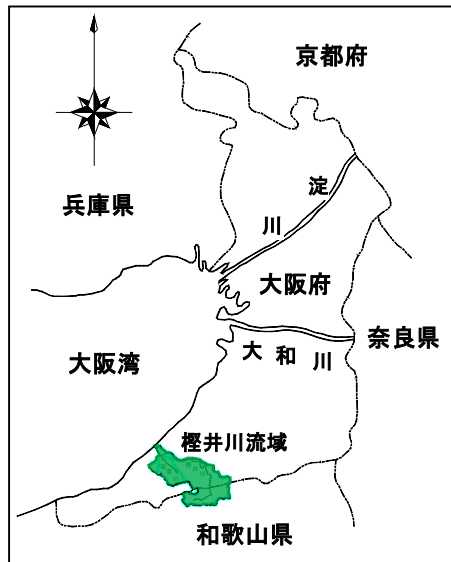
檜井川水系の 流域の概要について

- 1.流域・河川の現状
- 2.流域の特性
- 3.河川の特性
- 4.治水事業の概要
- 5.既往の治水計画の概要
- 6.治水の状況

1. 流域の現状

- 榎井川水系は、榎井川、新家川の二河川からなる二級水系で、流域面積は約59.56km²、その流域は大阪府泉佐野市（45%）、泉南市（29%）、田尻町（1%）、和歌山県紀の川市（25%）に属しています。
- 榎井川は和歌山県紀の川市の山中に源を発し、流路延長は24.9km（二級指定区間16.3km）で、泉佐野市、田尻町、泉南市を流下し、新家川等の支川を合わせ、大阪湾に注ぎます。
- 新家川は、和泉山脈に源を発し、流域面積は約11.70km²、流路延長は4.6km（二級指定区間4.4km）で泉南市を流下し、榎井川の河口から上流1.8km付近で左岸から合流します。

河川名	二級河川指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
榎井川	16.3	59.56
新家川	4.4	11.70
合計	20.7	—



榎井川水系位置図



榎井川水系流域図

1. 河川の現状 榎井川下流部（河口～新兎田橋）

- 榎井川下流部は、主に築堤区間であり、川幅が50～100mと広く、高水敷を有する複断面構造となっています。河床勾配は1/1000～1/400程度、河道内に発達した砂州には植生が見られ、高水敷も含めて緑の多い自然空間が形成されています。河床材料は、シルト質砂が中心です。
- 河口～江永橋までは感潮区間となっており、高潮対策事業が完了しています。また、河道としては、時間雨量80ミリ程度の降雨で発生する洪水に対応する河川改修事業が完了しています。
- 河口付近や国道26号沿いで家屋や工場等が連たんしていますが、多くは農地を流下し、広がりのある景観となっています。

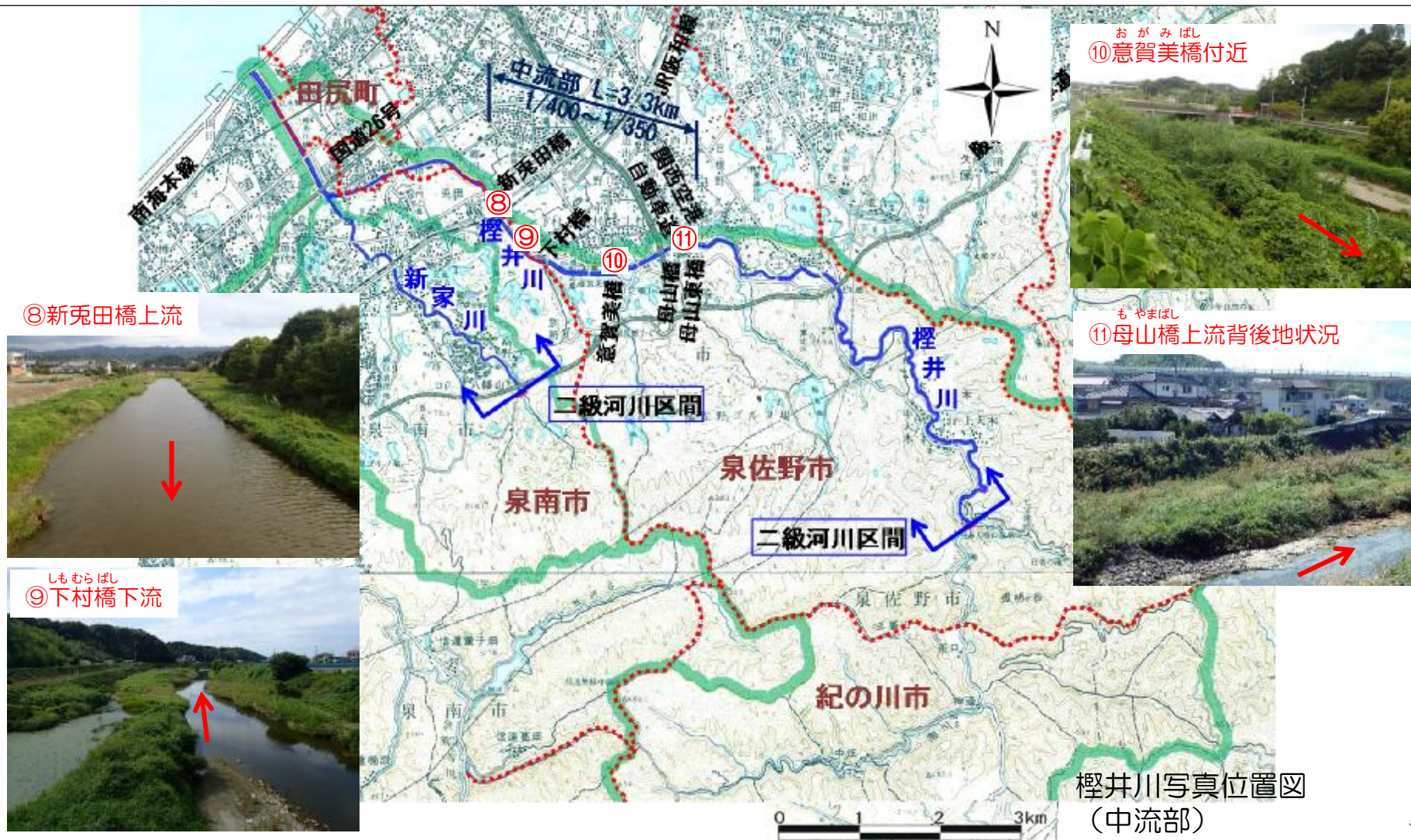


榎井川写真位置図（下流部）



1. 河川の現状 榎井川中流部（新兎田橋～母山東橋）^{もやまひがしはし}

- 榎井川中流部は、主に堀込区間であり、川幅が50m程度の単断面構造となっています。河床勾配は1/400～1/350程度、河道内に発達した砂州には植生が見られ、緑の多い自然空間が形成されています。河床材料は、砂が中心です。
- 河道としては、時間雨量80ミリ程度の降雨で発生する洪水に対応する河川改修事業が完了しています。
- 一部では、家屋等が近接する箇所もありますが、多くは農地を流下し、広がりのある景観を呈しています。



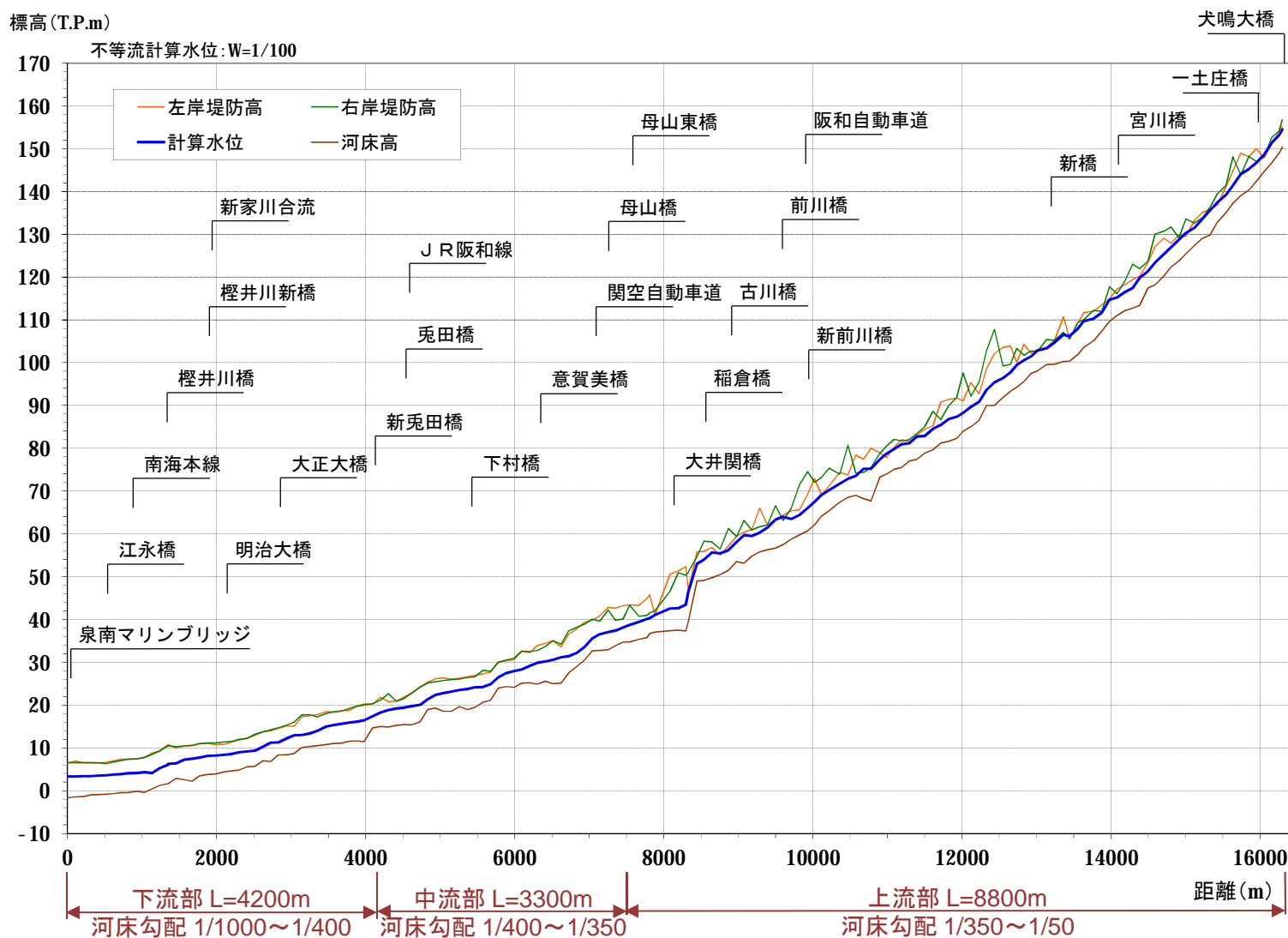
1. 河川の現状 榎井川上流部（母山東橋～犬鳴大橋）

- 榎井川上流部は、堀込区間であり、山間部を流下しています。河床勾配は1/350～1/50程度、河床材料は岩が中心で、湾曲部内側で礫の堆積が見られます。
- 温泉街のある溪谷、集落や水田が点在する里山を緩やかに蛇行を繰り返して流れています。



1. 河川の現状 榎井川・縦断形状

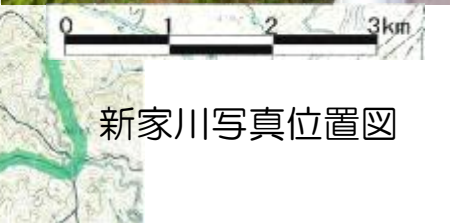
- 河床勾配は、下流部で1/1000～1/400、中流部で1/400～1/350、上流部で1/350～1/50となっています。



出典 「H24年度榎井川河川氾濫解析検討業務委託」報告書を基に作成

1. 河川の現状 新家川

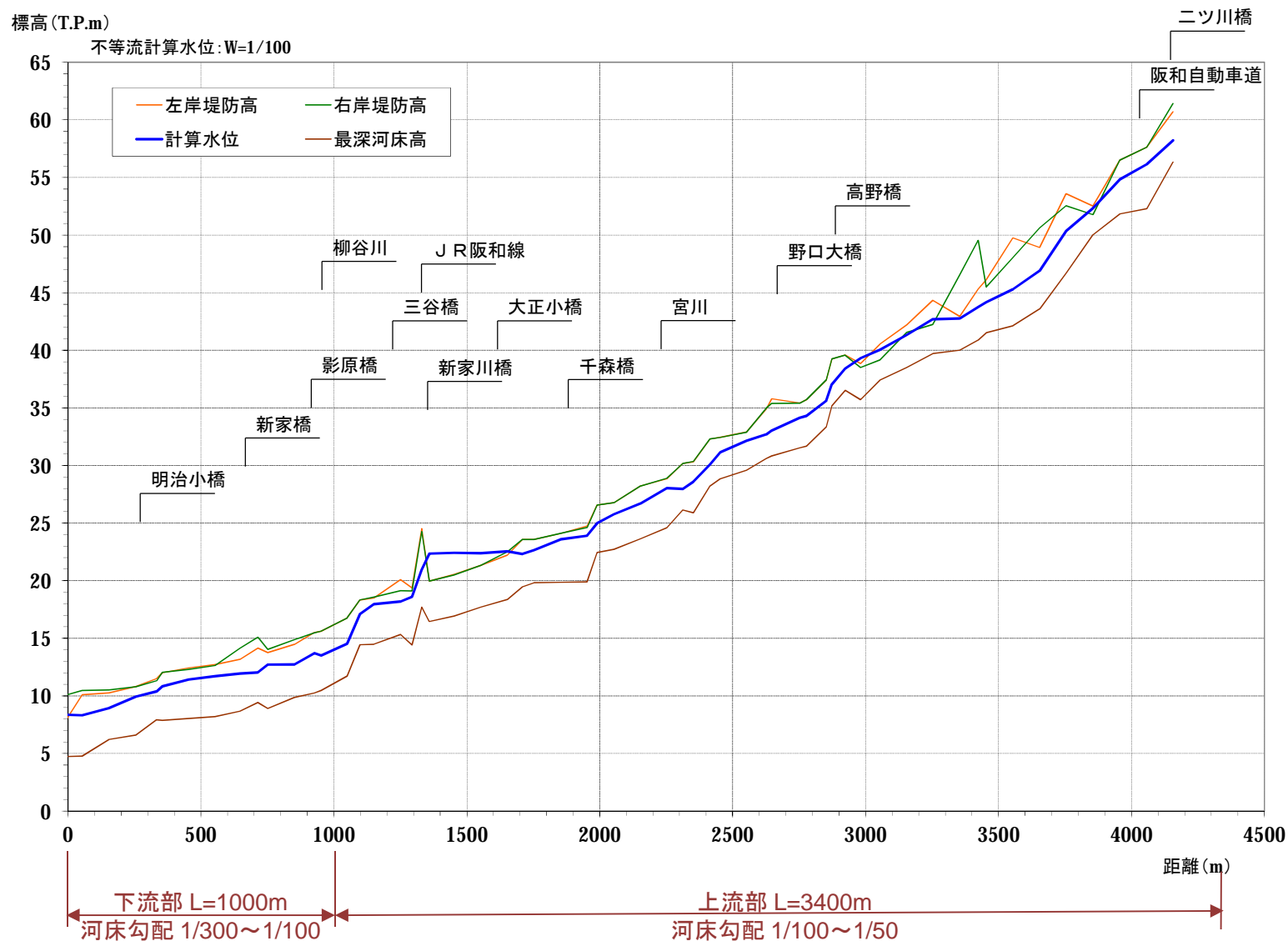
- 新家川は、主に堀込区間であり、川幅は30~10mで、単断面構造となっています。河道内に発達した砂州には植生が見られます。
- 河道としては、JR阪和線上下流約100mを除き、榎井川合流点から高野橋までは、時間雨量80ミリ程度の降雨で発生する洪水に対応する河川改修事業が完了しています。JR阪和線上下流約100mの区間について、現在、JR阪和線の架替工事を実施しています。
- 一部では、家屋等が近接する箇所もありますが、多くは農地を流下し、広がりのある景観を呈しています。河道内は、ブロック積の護岸が目立ち、堰の影響による湛水が目につきます。



新家川写真位置図

1. 河川の現状 新家川・縦断形状

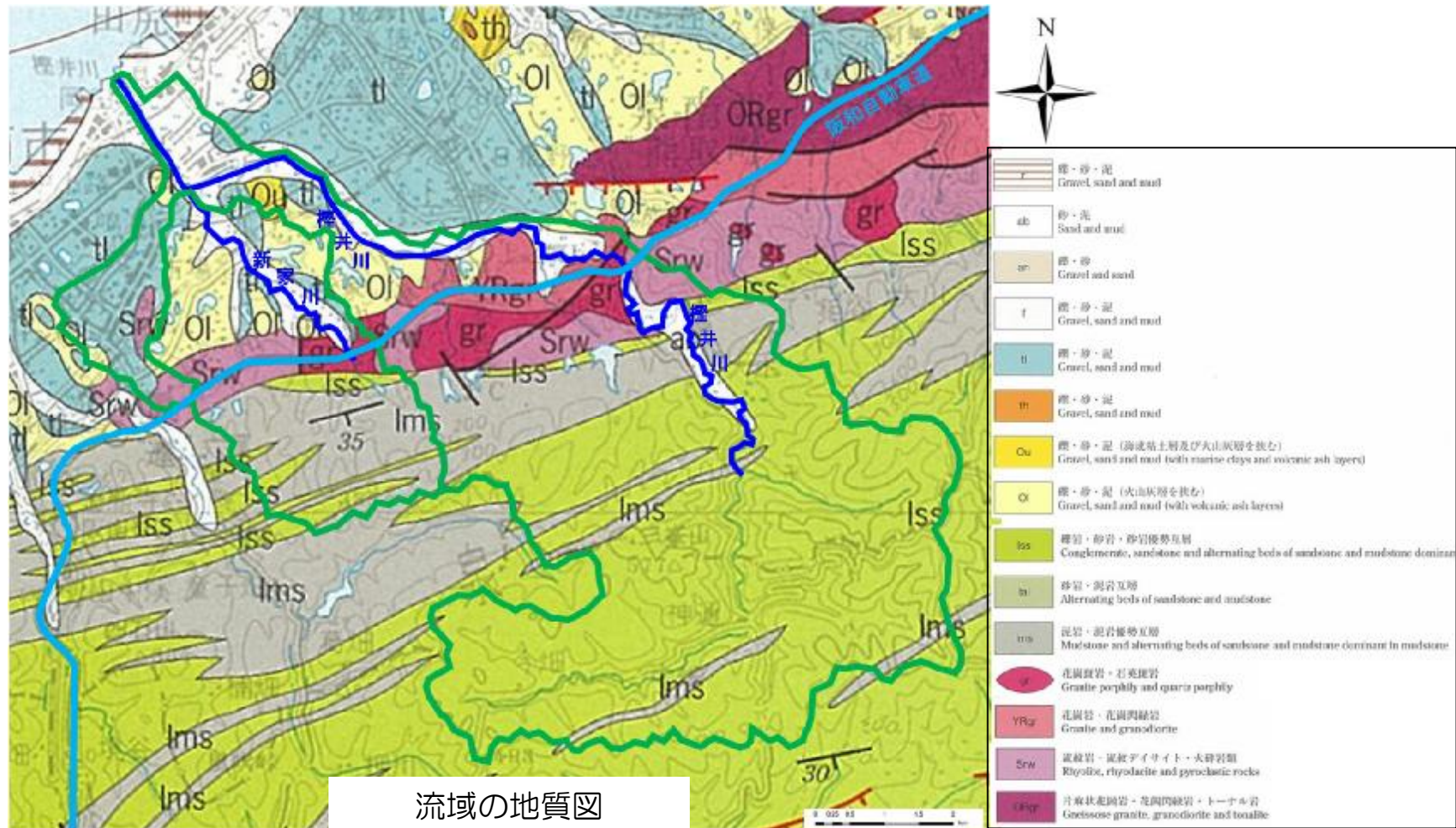
• 河床勾配は、下流1.0km区間で1/300~1/100、その上流区間では1/100~1/50となっています。



出典 「H22年度新家川河川氾濫解析検討業務委託」報告書を基に作成

2. 流域の特性 自然環境特性 地形・地質

- 流域の地形は、阪和自動車道から上流部において山地の様相を呈し、新家川合流点にかけてはなだらかな丘陵地で、河川沿いに形成された段丘に続いて平地となり、大阪湾へと続いています。標高は、流域界を成す山稜が400m~500m程度、丘陵地が概ね100m~300m、平地は概ね5~50mとなっています。
- 地質は上流部が和泉層群、中流部は領家帯の花崗岩質変成岩、下流部は大阪層群からなっています。



2. 流域の特性 自然環境特性 自然環境

- ・ 檜井川では、上流部から中流部にかけては、鳥類は、水際で水生昆虫を採餌するコチドリやタヒバリ等が見られます。また、魚類では、重要種のドンコ等が確認されています。
- ・ 下流部では、鳥類は、特に河口部が良好な餌場となっており、重要種のコアジサシ、ハマシギ、キアシシギ、トウネン、シロチドリ等が確認され、バードウォッチングの名所となっています。魚類では、河道内に形成された淵に、重要種のタモロコやメダカ、ゴクラクハゼ等の魚が確認される一方、特定外来生物のブルーギルや要注意外来生物のタイリクバラタナゴも確認されています。
- ・ 新家川では、鳥類は、周辺の林等でアオサギ、ムクドリ、セグロセキレイ等を見かけることができます。魚類は、下流付近で、重要種のタモロコ、メダカ、ウキゴリや、特定外来生物のカダヤシが確認されています。

確認された鳥類一覧表

番号	目	科名	種名	学名	H8.3報告書 (※)	環境省モニタリングサイト1000 干潟 シギ・チドリ類サイト			環境省 レッドリスト 平成24年8月	大阪府 レッドリスト 平成26年3月
					平成7年度	平成18年5月	平成19年5月	平成20年9月		
1	チドリ	カモメ	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>	○					
2	チドリ	カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	○					
3	チドリ	カモメ	コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>	○				絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
4	チドリ	カモメ	セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>	○					
5	チドリ	シギ	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	○	○	○		準絶滅危惧	準絶滅危惧
6	チドリ	シギ	キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	○	○	○			
7	チドリ	シギ	キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>		○	○			準絶滅危惧
8	チドリ	シギ	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>		○	○			
9	チドリ	シギ	トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>				○		準絶滅危惧
10	チドリ	シギ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>				○		
11	チドリ	チドリ	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	○		○		絶滅危惧Ⅱ類	
12	チドリ	チドリ	メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>			○			
13	スズメ	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	○					
14	スズメ	ムクドリ	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>	○					
15	ハト	ハト	ドバト	<i>Columba livia</i>	○					
16	コウノトリ	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	○					
17	カモ	カモ	ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>	○					

※「泉南地域河川環境管理基本計画策定業務委託報告書 H8.3 大阪府」



コアジサシ



ハマシギ



キアシシギ



トウネン



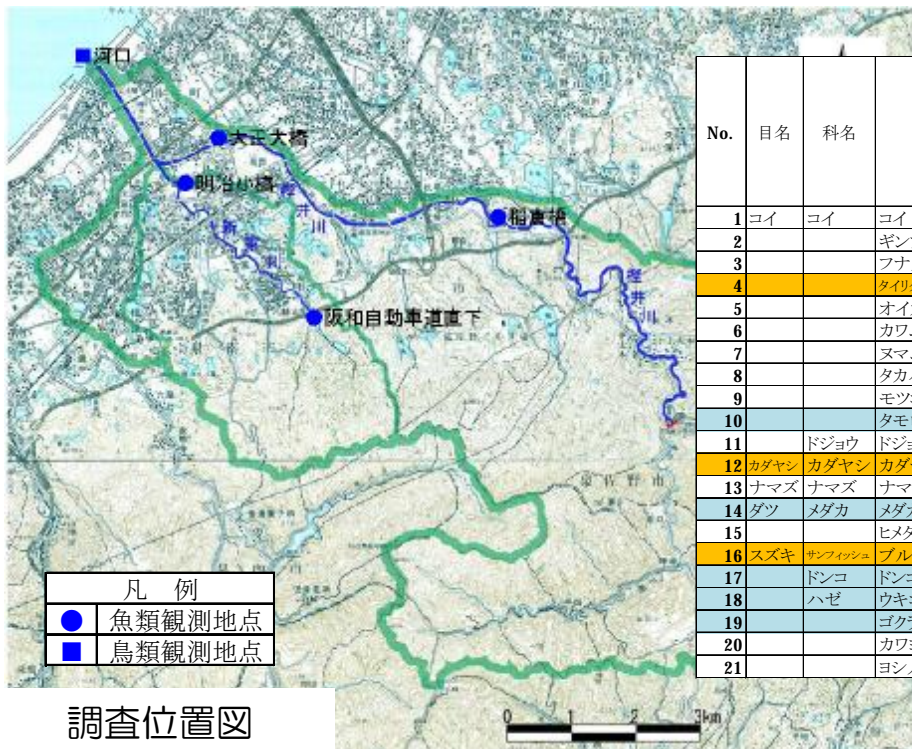
シロチドリ



アオサギ

鳥類写真出典:H16 文部科学省・教育情報共有化促進モデル事業尾道市情報教育研究会「デジタル図鑑」

2. 流域の特性 自然環境特性 自然環境



調査位置図

確認された魚類一覧表

No.	目名	科名	和名	学名	平成23年調査		平成26年調査			重要種および外来種							
					大正大橋	稲倉橋	大正大橋	稲倉橋	明治小橋	阪和道下	文化財保護法	種の保存法	R L	R D B	大阪府	外来生物法	
1	コイ	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>													
2			ギンブナ	<i>Carassius auratus langsdorffii</i>	○												
3			フナ属	<i>Carassius</i>			○										
4			タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	○												要注
5			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>	○	○	○	○									
6			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>		○	○	○	○	○							
7			スمامツ	<i>Candidia sieboldii</i>					○	○							
8			タカハヤ	<i>Rhynchocypris oxycephalus jouyi</i>				○									
9			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>			○		○								
10			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus</i>	○		○		○								要注
11		ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>					○								
12	カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>					○								特定
13	ナマズ	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	○												
14	ダツ	メダカ	メダカ	<i>Oryzias latipes</i>	○		○		○						危II	危II	
15			ヒメダカ	<i>Oryzias latipes var.</i>					○								
16	スズキ	カンフィッシュ	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>			○										特定
17		ドンコ	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>		○		○									要注
18		ハゼ	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>					○								危II
19			ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius giurinus</i>	○												危I
20			カワヨシノボリ	<i>R. flumineus</i>		○		○									
21			ヨシノボリ属	<i>Rhinogobius</i>					○								

平成23年調査: 二級河川牛滝川外 河川水辺環境調査業務委託
 平成26年調査: 二級河川津田川外 河川水辺環境調査委託(H26)



タイリクバラタナゴ

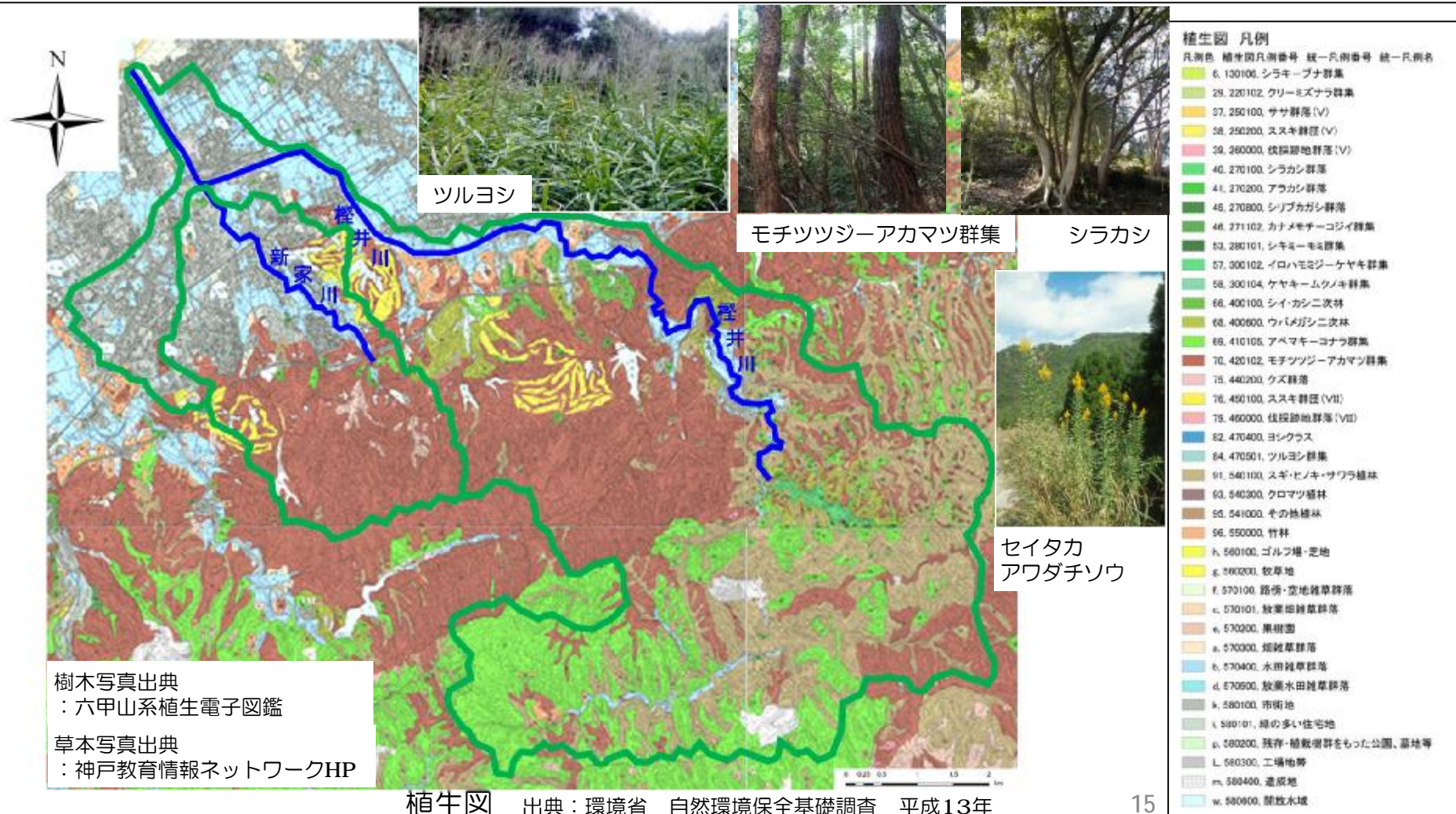
写真出典:
 大阪府立
 環境農林水産
 総合研究所HP



写真出典: 二級河川津田川外
 河川水辺環境調査委託(H26)

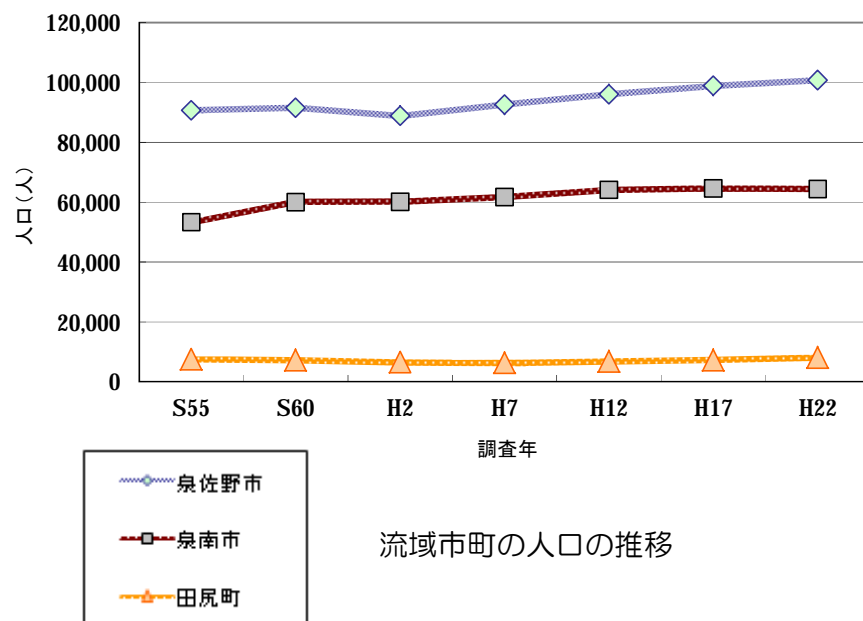
2. 流域の特性 自然環境特性 自然環境

- 榎井川の上流部は、^{こんごういこまきせんこくていこうえん}金剛生駒紀泉国定公園に含まれる豊かな自然環境を有しており、犬鳴山周辺ではシラカシの自然林が見られます。流域の植生については、全体にモチツツジアカマツ群集が分布しています。
- 榎井川下流部の洲にはアブラナ等、河道内及びその周辺では竹林、中流部の州にツルヨシ等が多く見られます。標高の高い丘陵地から山間にかけてはスギ、ヒノキ等が植林されています。また、^{おおいげきこうえん}大井関公園周辺にはソメイヨシノが植栽され、犬鳴山の溪谷とともに「大阪みどりの百選」に選定されています。
- 新家川では、アブラナやセイタカアワダチソウが河道内に多く見られます。



2. 流域の特性 社会環境特性 人口

- 流域に属する各市町の人口（平成22年度国勢調査）は泉佐野市が100,801人、泉南市が64,403人、田尻町が8,085人となっています。近年、この地域の世帯数は増加傾向にあるものの、人口は横ばいとなっており、核家族化が進展していることがうかがえます。



出典：各年国勢調査

流域市町の世帯数・人口の推移

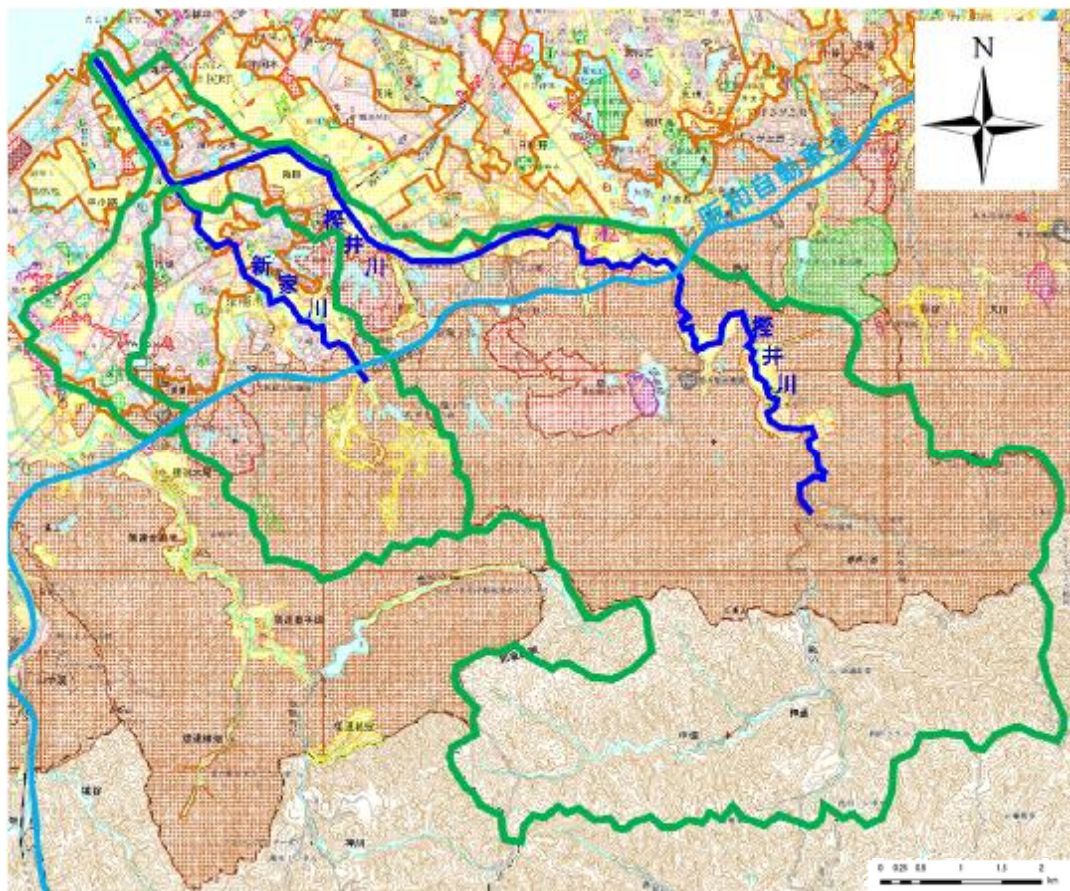
年次	泉佐野市		泉南市		田尻町		
	世帯総数	人口	世帯総数	人口	世帯総数	人口	
平成1年	26,511	89,717	17,438	60,347	2,135	6,743	1)
平成2年	26,575	88,866	17,438	60,065	1,995	6,540	2)
平成3年	26,679	88,434	17,545	60,060	2,000	6,441	1)
平成4年	27,166	88,463	17,942	60,507	2,002	6,384	1)
平成5年	27,703	88,845	18,139	60,742	2,008	6,306	1)
平成6年	28,928	90,183	18,613	61,355	2,049	6,209	4)
平成7年	30,711	92,583	18,801	61,688	2,100	6,285	2)
平成8年	31,510	93,668	19,071	62,004	2,335	6,613	3)
平成9年	32,024	94,252	19,535	62,695	2,402	6,680	3)
平成10年	32,650	94,897	20,043	63,593	2,463	6,753	3)
平成11年	33,022	95,299	20,455	64,103	2,518	6,854	3)
平成12年	33,663	96,064	20,709	64,152	2,454	6,785	2)
平成13年	34,403	96,994	20,877	64,292	2,533	6,794	3)
平成14年	35,082	98,108	21,106	64,309	2,532	6,814	3)
平成15年	35,317	98,319	21,372	64,640	2,554	6,891	3)
平成16年	35,725	98,643	21,552	64,702	2,575	6,915	3)
平成17年	36,065	98,889	21,751	64,683	2,731	7,240	2)
平成18年	36,907	99,545	22,064	64,947	2,882	7,644	3)
平成19年	37,461	99,818	22,276	64,906	3,000	7,796	3)
平成20年	38,236	100,523	22,362	64,782	3,180	8,012	3)
平成21年	38,811	100,812	22,484	64,681	3,196	8,028	3)
平成22年	39,084	100,801	22,604	64,403	3,255	8,085	2)
平成23年	39,378	100,462	22,692	64,085	3,276	8,091	1)
平成24年	39,727	100,273	22,806	63,720	3,348	8,143	1)
平成25年	39,959	99,849	22,934	63,422	3,826	8,549	1)

出典：

- 1)大阪府の推計人口
- 2)国勢調査
- 3)国勢調査（確定数）による大阪府推計人口補正值
- 4)大阪府統計年鑑

2. 流域の特性 社会環境特性 土地利用

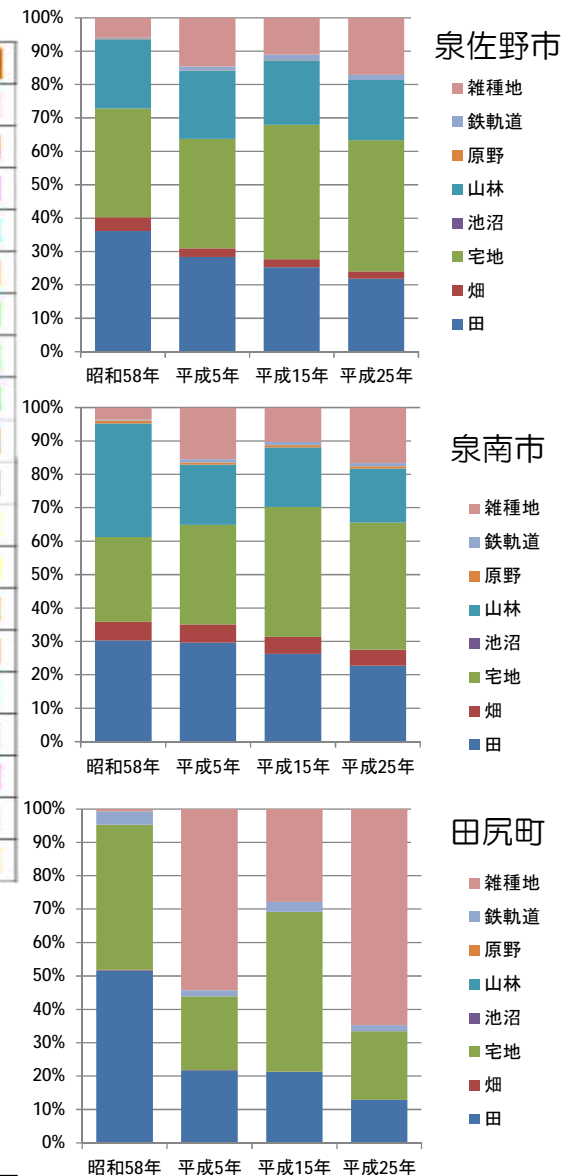
- 流域内の土地利用は、阪和自動車道から上流域は山地で、豊かな自然が残されています。中流域及び下流域は市街化区域が多くを占めていますが、沿川では比較的田畑が広がっています。



平成17年度土地利用図
出典：大阪府地図情報システム

各市の土地利用面積の変遷

出典：大阪府統計年鑑データを加工



2. 流域の特性 社会環境特性 歴史・文化・観光

- ・ 榎井川流域には、府内有数の縄文時代の遺跡である三軒屋遺跡、古墳時代の新家古墳群等の埋蔵文化財、熊野街道、意賀美神社（国指定重要文化財）等の歴史的地物・文化財があります。日根荘遺跡（国史跡）を中心とする日根荘大木の農村景観は、平成25年に大阪府で初めての「重要文化的景観」に指定されました。
- ・ 榎井川上流部には日本最古の霊場で知られる犬鳴山七宝滝寺や、撰社幸神社本殿が国指定重要文化財に指定されている火走神社があります。
- ・ 流域の下流部には榎井古戦場や海会寺跡等の史跡、中流部には慈眼院多宝塔や大井関公園等の名所があります。また、榎井川上流部の犬鳴山温泉付近は溪流の自然を求めて多くの人を訪れます。



① 熊野街道



② 意賀美神社



③ 日根神社



④ 犬鳴山七宝滝寺



⑤ 火走神社



⑥ 榎井古戦場



⑦ 海会寺跡



⑧ 慈眼院多宝塔

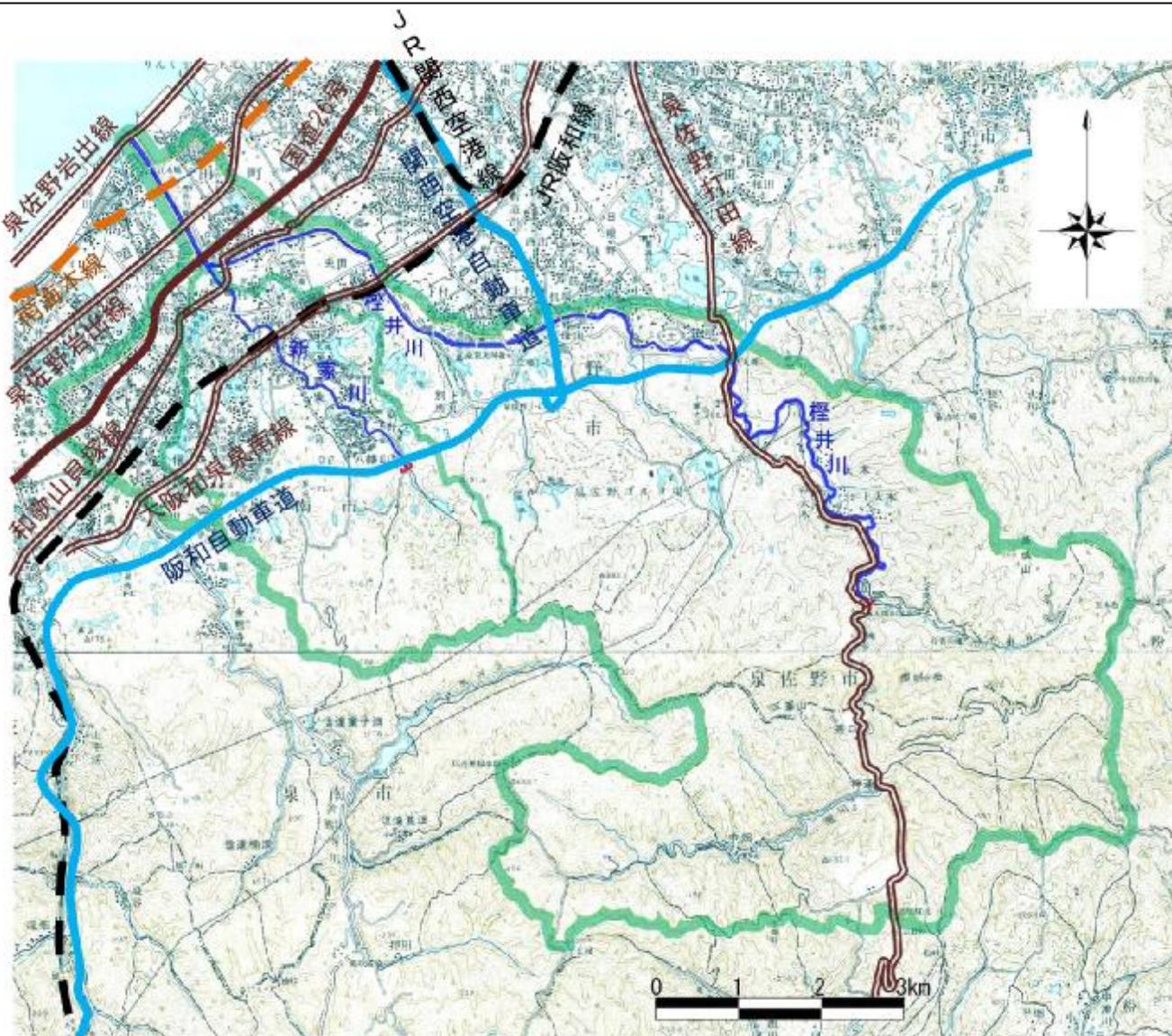


写真出典：泉佐野市観光協会HP
泉佐野市HP, 泉南市HP, 田尻町HP

流域周辺の歴史・文化・観光資産

2. 流域の特性 社会環境特性 交通

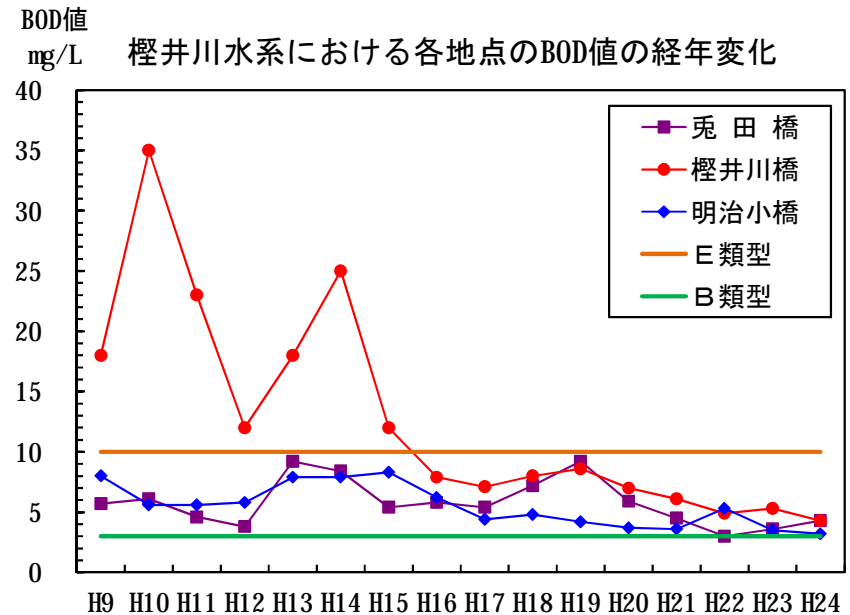
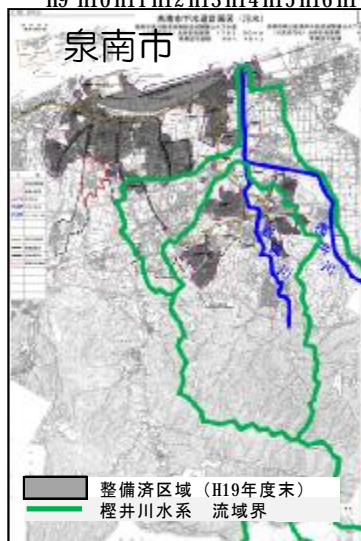
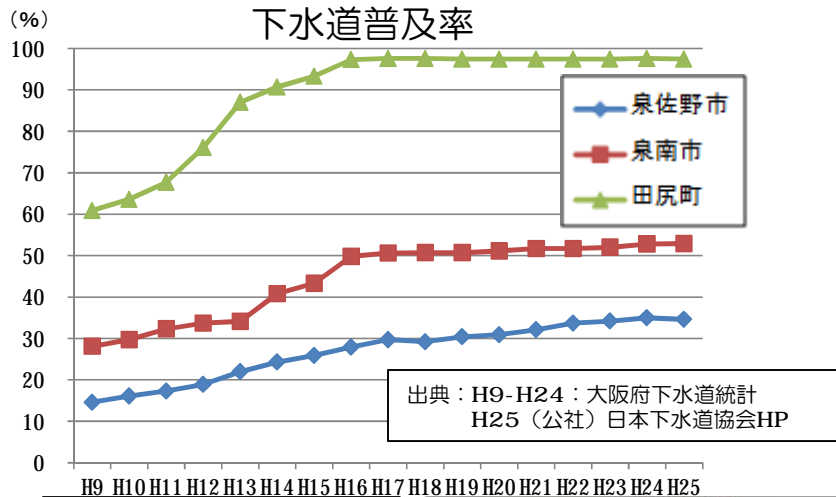
- 流域内における交通は、大阪府と和歌山県を結ぶ形で鉄道や幹線道路が整備されています。鉄道はJR阪和線、南海本線が並走し、幹線道路は阪和自動車道、国道26号（第二阪和国道）、関西空港自動車道といった交通網が基幹を成しています。



流域の交通網図

3. 河川の特性 水質

- 樫井川の水質汚濁に係る環境基準は、下流部（環境基準点：樫井川橋）ではE類型（BOD10mg/L以下）に、上流部（環境基準点：^{つきだばし} 兔田橋）ではB類型（BOD3mg/L以下）に指定されています。
- 平成9年度末の下水道整備率は、田尻町60.9%、泉南市28.1%、泉佐野市14.6%でしたが、平成24年度末には、田尻町97.6%、泉南市52.8%、泉佐野市35.0%にまで整備が進みました。
- 平成10年度には樫井川橋地点のBOD値は35.0mg/Lを記録しましたが、下水道整備等により、平成16年度以降は環境基準値を下回り、平成24年度には4.3mg/Lにまで改善しています。



基準点のBOD値経年変化図

樫井川（兔田橋・樫井川橋）：BOD75%値
 新家川（明治小橋）：BOD年平均値

出典：大阪府環境白書

下水道整備状況図

出典：泉佐野市HP
 泉南市HP

3. 河川の特性 水利用

- 水利用については、主に農業用水としてかんがいに利用されています。樫井川では19件、新家川では14件の慣行水利が届け出されており、河道内には多くの取水堰が設けられており、河道改修に伴い、一部は可動堰に改築されました。また、魚類の遡上に配慮し、魚道を設置している堰もあります。



施設名	構造形式	目的
片井堰	コンクリート固定堰	かんがい
乙井湯井堰	コンクリート固定堰	かんがい
中井湯堰	コンクリート固定堰	かんがい
山崎井堰	コンクリート固定堰	かんがい
友田井堰	コンクリート固定堰	かんがい
二ノ井堰	コンクリート固定堰	かんがい
森の湯井堰	コンクリート固定堰	かんがい・防火
兎田井堰	ゴム式起伏堰	かんがい
長滝井堰	ゴム式起伏堰	かんがい
小井堰	ゴム式起伏堰	かんがい・防火
一の井堰	コンクリート固定堰	かんがい・防火
大井堰(1)	鋼製起伏堰	かんがい・養魚
大井堰(2)	コンクリート固定堰	かんがい
大井揚水機	渦巻ポンプ	かんがい
大池取入口	鋼製起伏堰	かんがい・養魚
下平井堰	コンクリート固定堰	かんがい
菖蒲井堰	コンクリート固定堰	かんがい・防火
和井井堰	コンクリート固定堰	かんがい
大井堰(3)	コンクリート固定堰	かんがい
荒子井堰	コンクリート固定堰	かんがい
大田川井堰	コンクリート固定堰	かんがい
寺田井堰	コンクリート固定堰	かんがい
石風呂井堰	ゴム式起伏堰	かんがい
前川井堰	コンクリート固定堰	かんがい
暮間井堰	ゴム式起伏堰	かんがい
滝の下堰	ゴム式起伏堰	かんがい
千森堰	コンクリート固定堰	かんがい
中の川井堰	コンクリート固定堰	かんがい
高野川井堰	ゴム式起伏堰	かんがい
大池込口井堰	コンクリート固定堰	かんがい
久保田井堰	コンクリート固定堰	かんがい
新池横井堰	コンクリート固定堰	かんがい
二ツ川井堰	コンクリート固定堰	かんがい

慣行水利権・施設一覧

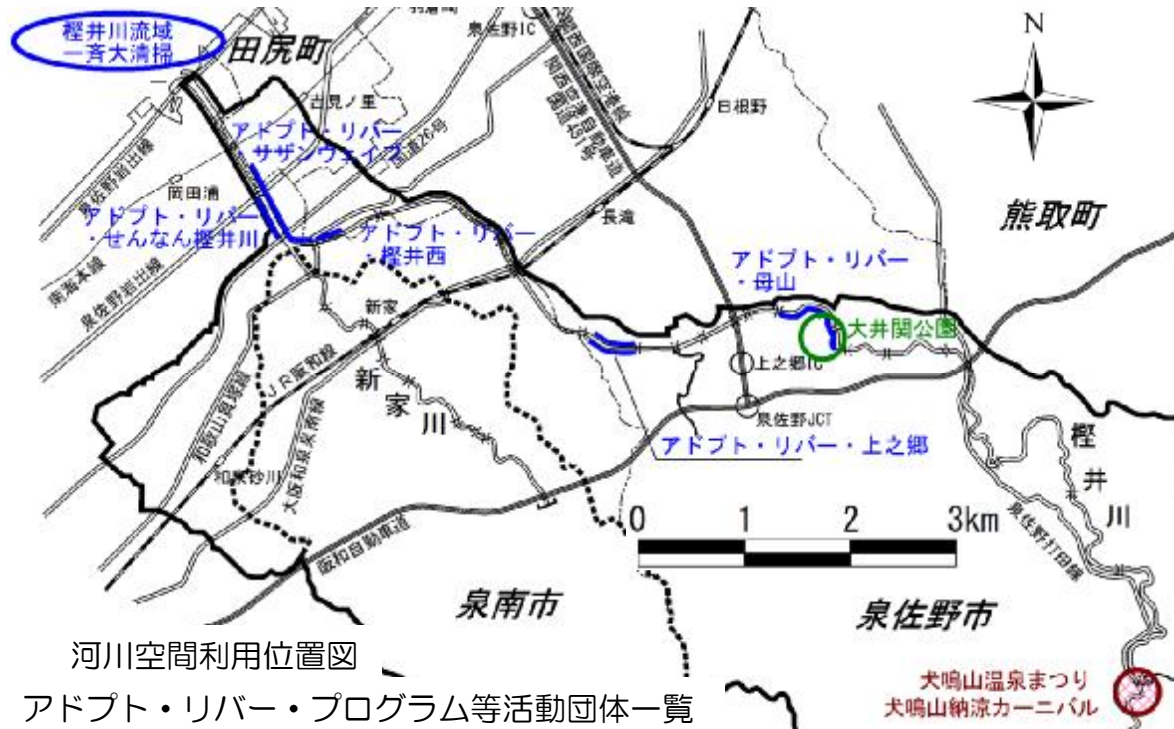


滝の下堰

取水堰等水利用位置図

3. 河川の特性 空間利用

- 河川空間の利用としては、榎井川中流部では低水路に親水性の高い護岸を設けたり、大井関公園周辺では、榎井川の溪流美を活かした整備がなされています。
- 榎井川上流部の犬鳴山温泉付近は溪流の自然を求めて多くの人を訪れ、溪流釣りや水遊び等の水辺のレクリエーション、金魚の放流など観光イベントの場として利用されています。
- 流域内の河川美化活動については、地域団体、地元市等が協力したアドプト・リバー・プログラムとしての取り組みや榎井川のほぼ全域を対象とした市民団体による清掃活動が行われています。



大井関公園
写真出典
大阪観光局HP



犬鳴山納涼カーニバル
(金魚の放流)
写真出典
泉佐野市観光協会HP

アドプト・リバー・プログラムによる美化活動



写真出典
泉南市ABC委員会HP

名称	関係団体	場所	内容
アドプト・リバー・上之郷	泉佐野中央ライオンズクラブ	榎井川 川原出橋～長滝井堰	美化活動
アドプト・リバー・母山	上之郷母山町会	榎井川 母山東橋～大井堰公園	美化活動
アドプト・リバー・榎井西	榎井西町会	榎井川 明治大橋～榎井共同墓地	美化活動
アドプト・リバー・せんなん榎井川	泉南市ABC委員会	榎井川 泉南市北野2丁目	美化活動
アドプト・リバー・サザンウェイブ	サザンウェイブ泉州フットボールクラブ	榎井川 南海線上流約300m～明治大橋	美化活動
榎井川流域一斉大清掃	榎井川を清流にする会	榎井川 全川	美化活動
犬鳴山温泉祭り	泉南市観光協会	犬鳴大橋上流	ますの放流(4月)
犬鳴山納涼カーニバル	泉南市観光協会	犬鳴大橋上流	金魚の放流(7月)

4. 治水事業の概要

- ・ 榎井川の治水事業の沿革は、昭和27年7月の泉州地区の洪水を契機に河川改修が行われ、河口～母山東橋上流の区間は、時間雨量80ミリ程度の降雨で発生する洪水に対応する河川改修が完了しています。
- ・ 昭和25年のシェーン台風を契機として、河口～江永橋の区間において高潮対策を実施し、現在は伊勢湾台風級の超大型台風が大阪湾に最悪のコース（室戸台風、昭和9年9月、大阪湾通過経路）を通過して満潮時に来襲したことを想定した高潮にも対応できる防潮堤防が完成しています。
- ・ 新家川については、昭和45年から河川改修に着手し、JR阪和線上下流約100mを除き、榎井川合流点～高野橋の区間は、時間雨量80ミリ程度の降雨で発生する洪水に対応する河川改修事業が完了しています。



平成7年7月2日～5日
榎井川 母山橋上流左岸

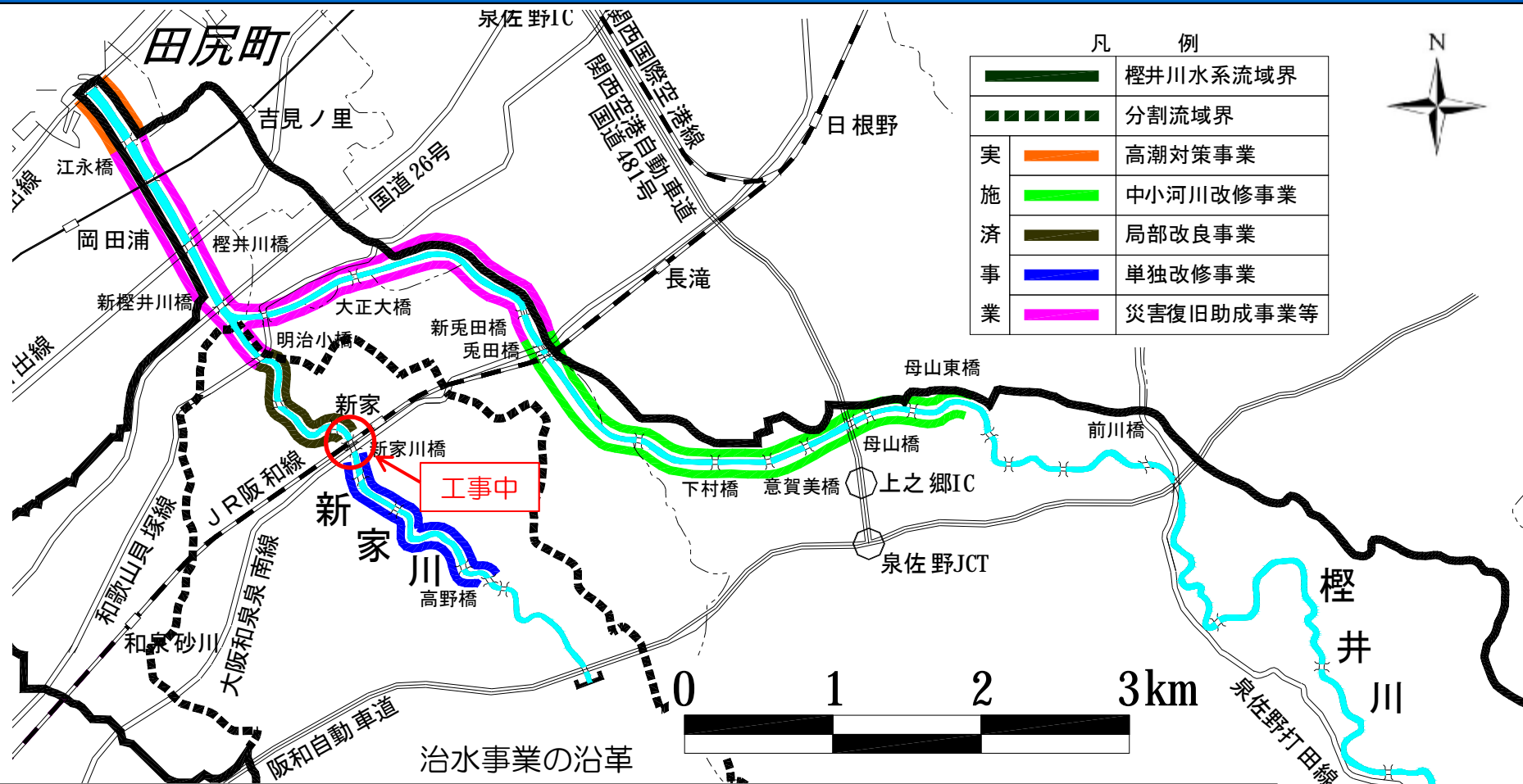


平成23年5月30日
榎井川 下村橋上流左岸

榎井川水系の過去の主な水害

年度	河川名	水害発生年月日	異常気象名	日降水量 (mm)	時間 降水量 (mm)	水害原因	水害区域面積(m ²)			被害家屋棟数(棟)			浸水地区
							農地	宅地 その他	計	床下 浸水	床上 浸水	計	
昭和54	普通河川	S54.6.13～8.8	豪雨	134.0	33.0	内水	0	1,000	1,000	3	0	3	泉佐野市上之郷地区
昭和57	2級河川	S57.7.5～8.3	豪雨、落雷、風浪と台風10号	148.0	27.0	無堤部浸水	0	1,000	1,000	1	0	1	榎井川
昭和57	2級河川	S57.7.5～8.3	豪雨、落雷、風浪と台風10号	148.0	27.0	内水	19,000	9,000	28,000	4	0	4	泉佐野市榎井地区
昭和57	普通河川	S57.7.5～8.3	豪雨、落雷、風浪と台風10号	148.0	27.0	内水	0	5,000	5,000	31	0	31	泉南市岡田地区
昭和57	普通河川	S57.7.5～8.3	豪雨、落雷、風浪と台風10号	148.0	27.0	内水	0	2,000	2,000	7	0	7	泉南市新家地区
昭和57	普通河川	S57.7.5～8.3	豪雨、落雷、風浪と台風10号	148.0	27.0	内水	0	3,000	3,000	13	0	13	泉南市信達市場地区
昭和57	普通河川	S57.7.5～8.3	豪雨、落雷、風浪と台風10号	148.0	27.0	内水	0	3,000	3,000	11	3	14	泉南市信達牧野地区
昭和58	普通河川	S58.5.24～7.28	豪雨	82.0	54.0	内水	0	1,000	1,000	1	0	1	泉南市新家地区
昭和58	普通河川	S58.5.24～7.28	豪雨	82.0	54.0	内水	0	9,000	9,000	3	0	3	泉南市信達市場地区
昭和58	普通河川	S58.5.24～7.28	豪雨	82.0	54.0	内水	0	1,000	1,000	1	0	1	泉南市信達大苗代地区
昭和58	普通河川	S58.5.24～7.28	豪雨	82.0	54.0	内水	50,000	212,000	262,000	15	0	15	泉南市信達牧野地区
昭和63	普通河川	S63.6.1～6.6	豪雨・落雷	156.0	21.0	内水	0	600	600	3	0	3	泉南市信達市場地区
昭和63	普通河川	S63.6.1～6.6	豪雨・落雷	156.0	21.0	内水	0	700	700	6	0	6	泉南市信達牧野地区
昭和63	普通河川	S63.6.1～6.6	豪雨・落雷	156.0	21.0	内水	0	300	300	1	0	1	泉南市新家地区
平成1	普通河川	H1.8.31～9.16	豪雨・落雷	195.0	35.0	内水	0	400	400	1	2	3	泉南市新家地区
平成5	普通河川	H5.2.21～2.24	豪雨及び風浪	—	—	内水	0	200	200	3	0	3	田尻町吉見
平成7	普通河川	H7.6.29～7.23	梅雨	145.0	47.0	内水	0	1,734	1,734	11	0	11	田尻町
平成7	普通河川	H7.6.29～7.23	梅雨	145.0	47.0	土石流	0	540	540	6	0	6	泉佐野市

4. 治水事業の概要



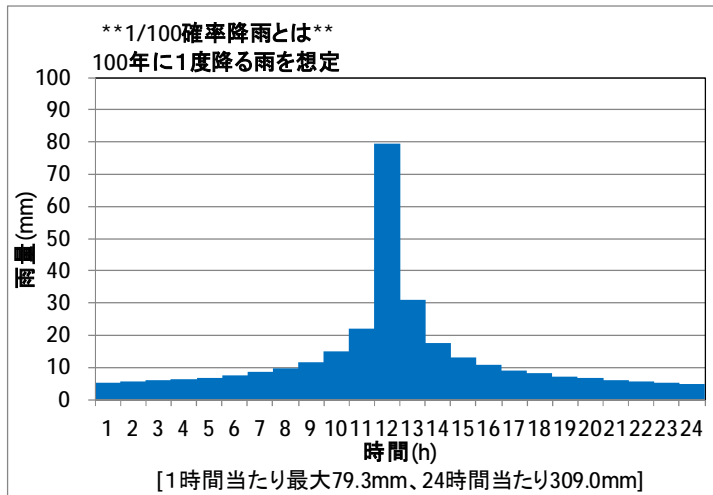
治水事業の沿革

河川	事業名	期間	範囲	整備延長	整備状況
榎井川	河川改修	昭和27年7月 (泉州地区の洪水を契機)～	河口～兎田橋	L=4.3km	時間雨量50ミリ程度 整備完了
		昭和57年～平成11年	河口～母山東橋上流	L=7.6km	時間雨量80ミリ程度完了
新家川	河川改修	昭和45年～平成2年	榎井川合流点～高野橋	L=1.3km(榎井川合流点～JR) L=1.5km(新家川橋上流～高野橋)	時間雨量80ミリ程度 整備完了
		平成23年度～平成28年度	JR橋梁改築工事	L=50m	時間雨量80ミリ程度 工事中

河川改修状況図

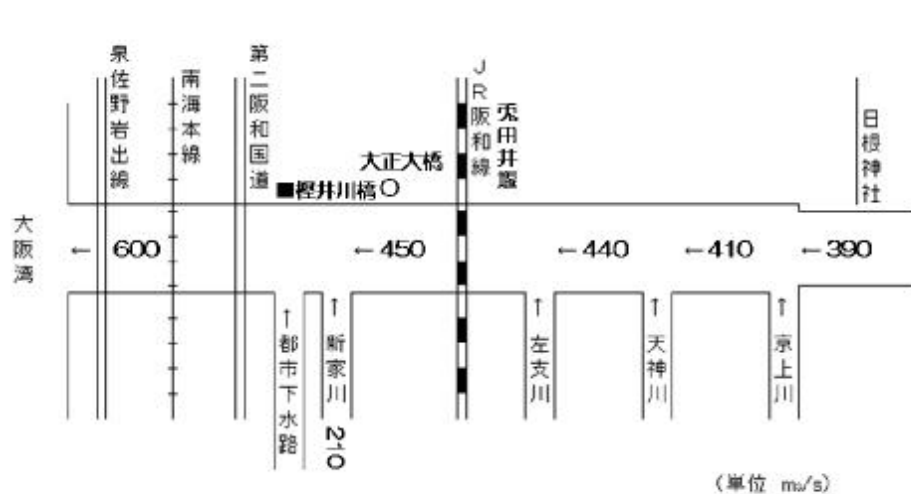
5. 既往の治水計画の概要

- 樫井川水系の治水計画における対象雨量は、泉南地区の1/100雨量です。
- 流出解析手法は、合理式法を採用しています。

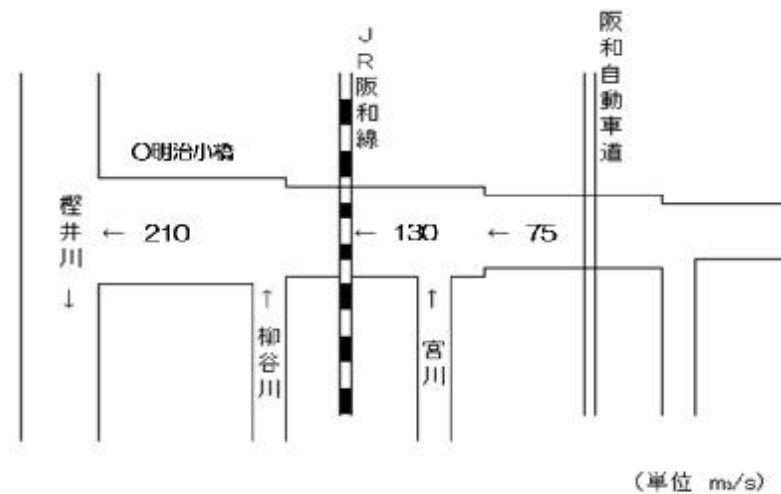


- ①対象降雨量
 - 時間最大雨量 (1/100) : 79.3mm/hr
 - 「平成8年度版 (泉南地区) 確率年別降雨強度式」より算出
- ②対象降雨波形
 - 中央集中型モデルハイト
- ③流出解析手法
 - 合理式法

[1/100年確率降雨 (79.3mm/hr、309.0mm/24hr)]



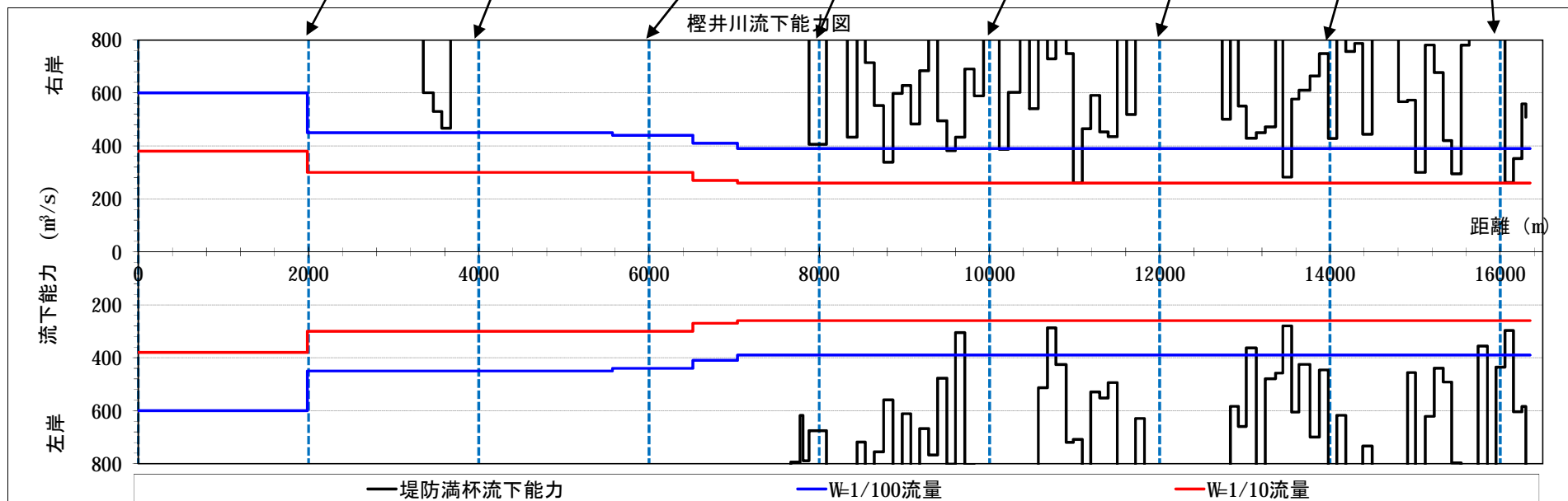
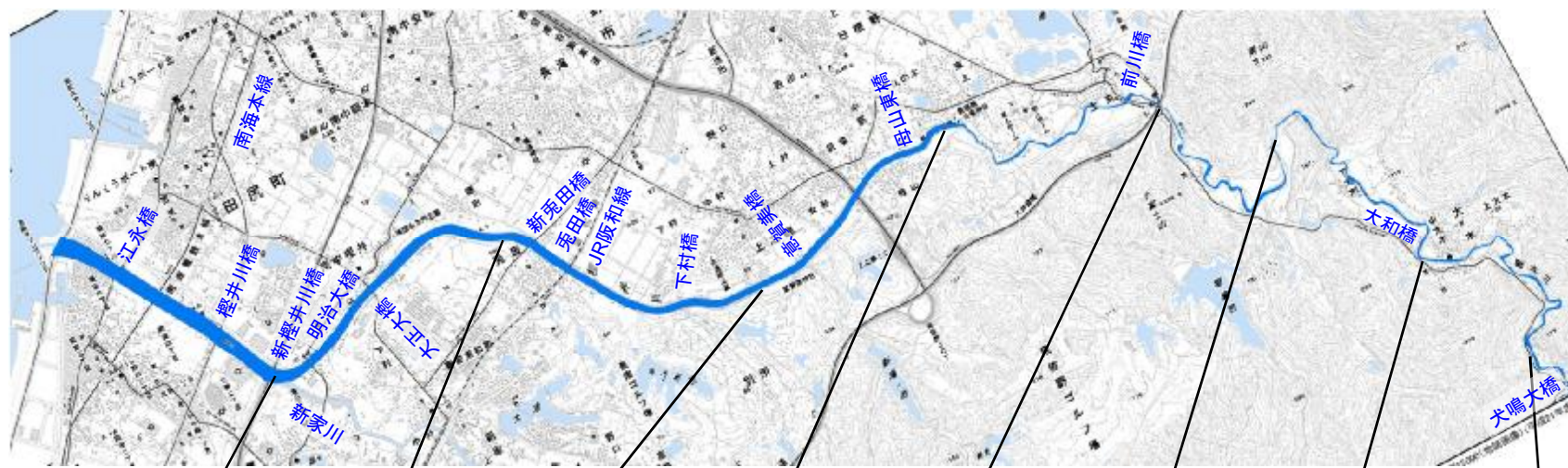
樫井川計画高水流量配分図 100年確率



新家川計画高水流量配分図 100年確率

6. 治水の状況 榎井川・流下能力図

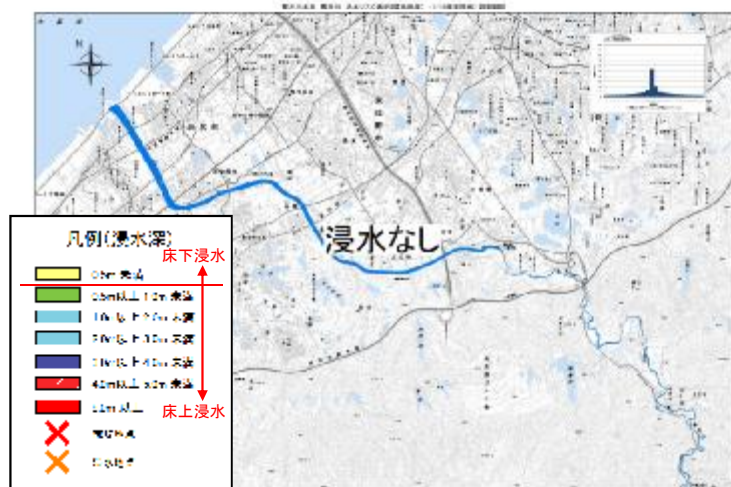
- 河口～母山東橋上流は、河川改修事業が完了しており、時間雨量80ミリ程度の降雨で発生する流量に対して流下能力が確保されています。



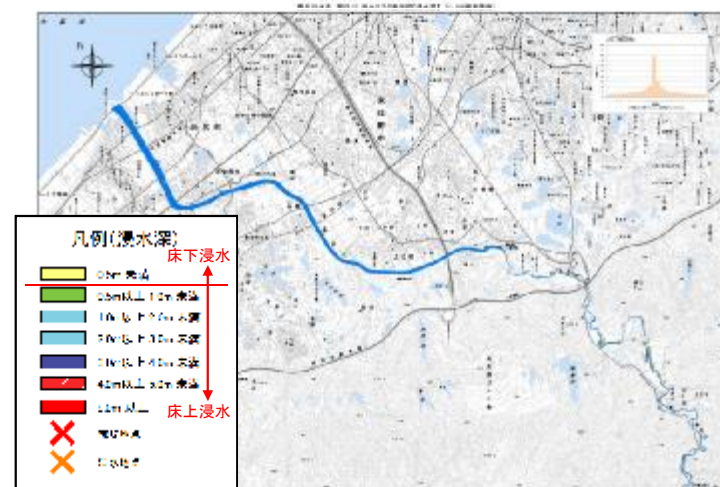
6. 治水の状況 榎井川・現況河道における氾濫解析結果

- 河口～母山東橋上流の区間では、時間雨量80ミリ程度の降雨でも浸水は発生しません。
- 母山東橋上流から上流の区間では、時間雨量80ミリ程度の降雨で危険度Ⅱの浸水が発生しますが、人家に影響はありません。

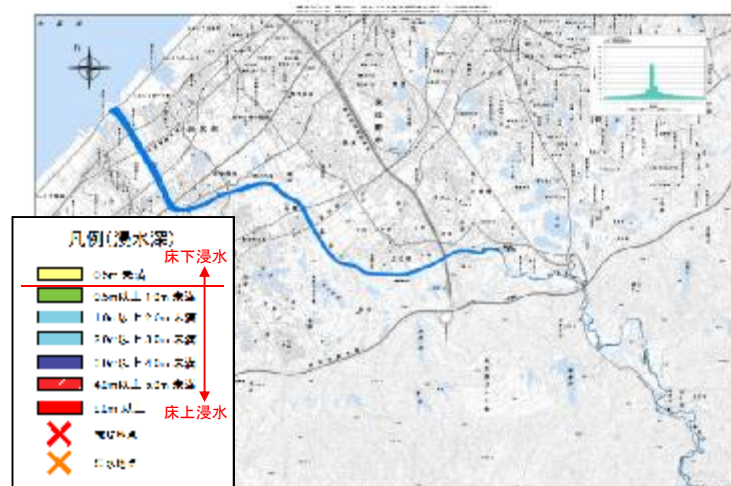
時間雨量53.8ミリ（1/10年）



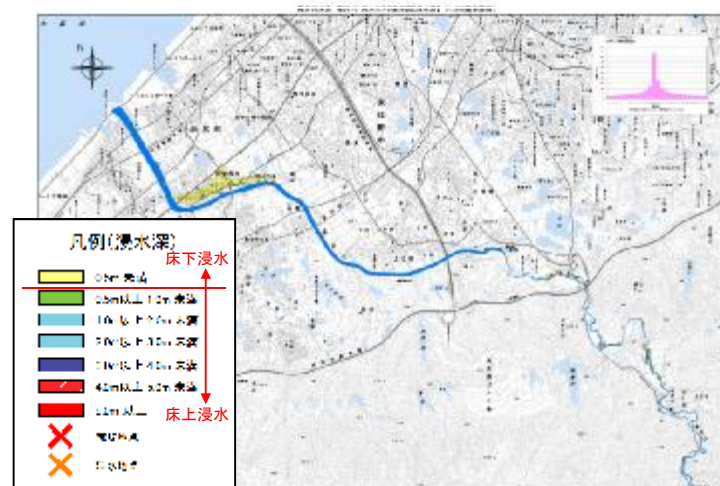
時間雨量79.3ミリ（1/100年）



時間雨量66.1ミリ（1/30年）



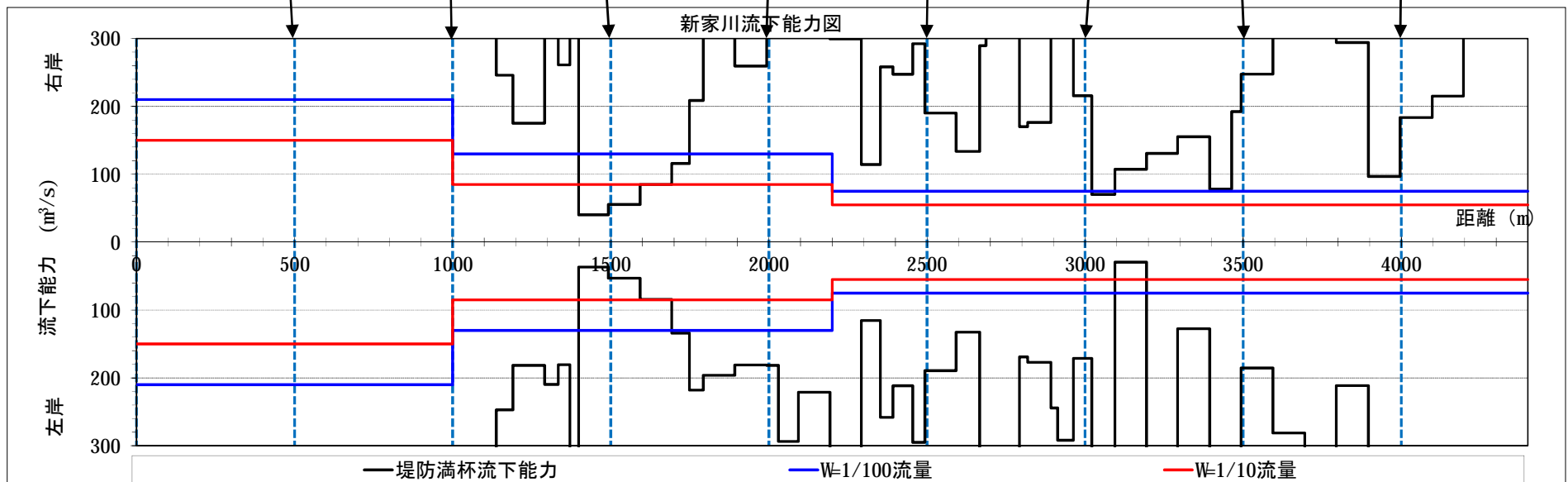
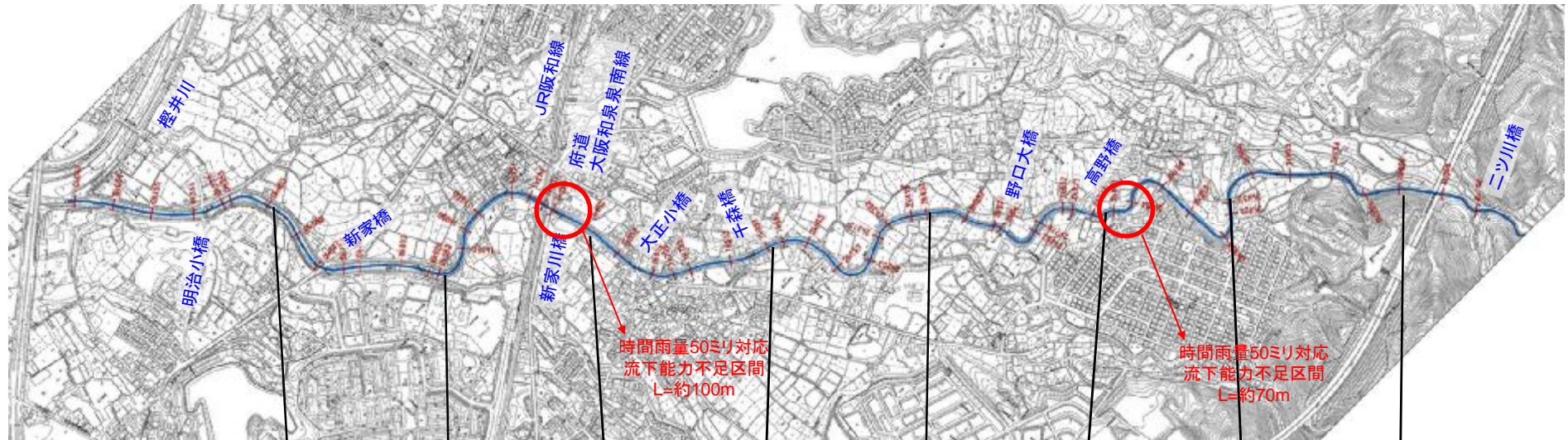
時間雨量86.9ミリ（1/200年）



出典：H24年二級河川榎井川河川氾濫解析検討業務委託

6. 治水の状況 新家川・流下能力図

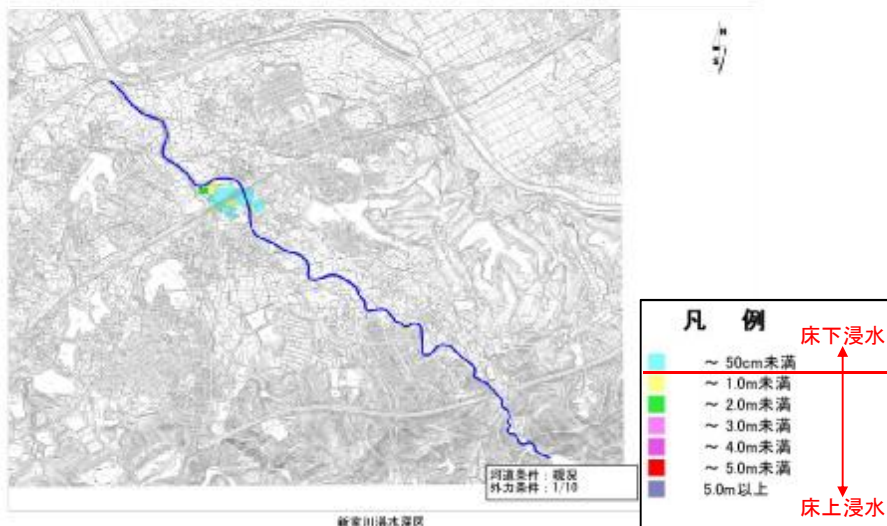
- JR阪和線上下流の約100mの区間等で、時間雨量50ミリ程度の降雨で発生する流量に対して流下能力が不足しています。



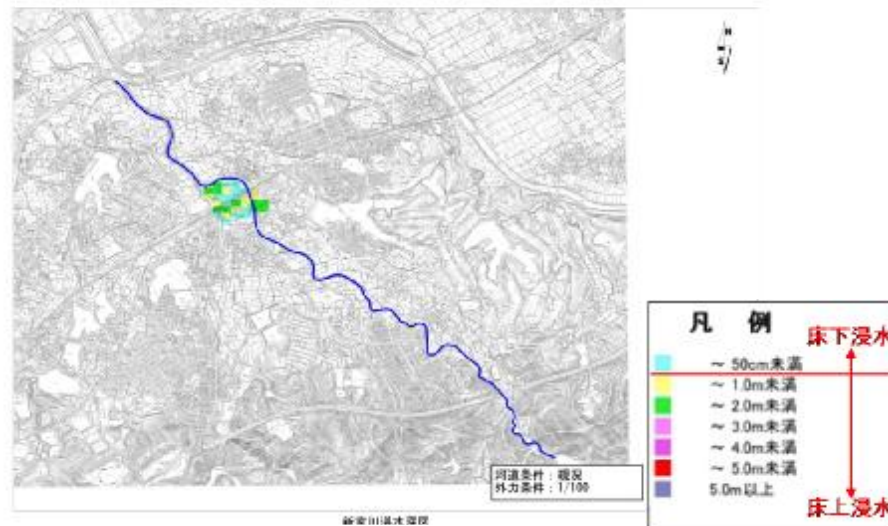
6. 治水の状況 新家川・現況河道における氾濫解析結果

- 主に流下能力が不足しているJR阪和線上下流の約100m区間（人家に影響あり）について、時間雨量50ミリ程度の降雨で危険度Ⅱ・Ⅰの浸水が発生します。

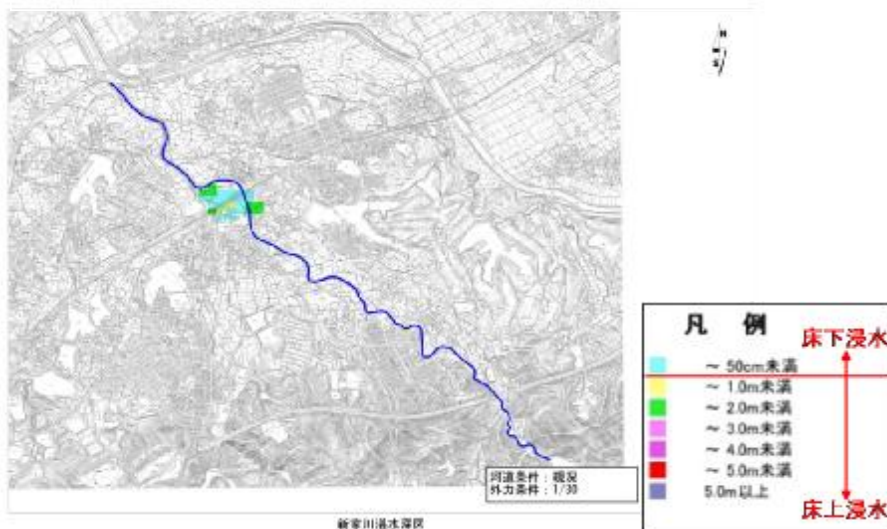
時間雨量53.8ミリ（1/10年）



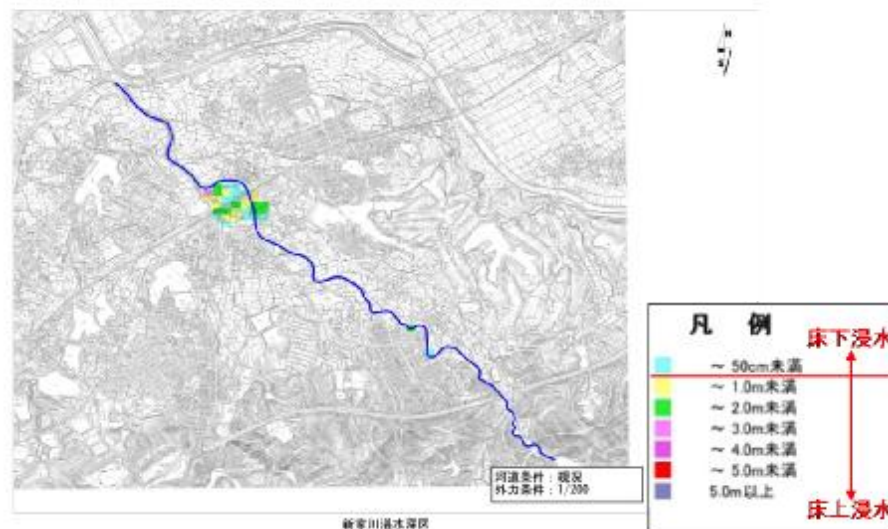
時間雨量79.3ミリ（1/100年）



時間雨量66.1ミリ（1/30年）



時間雨量86.9ミリ（1/200年）



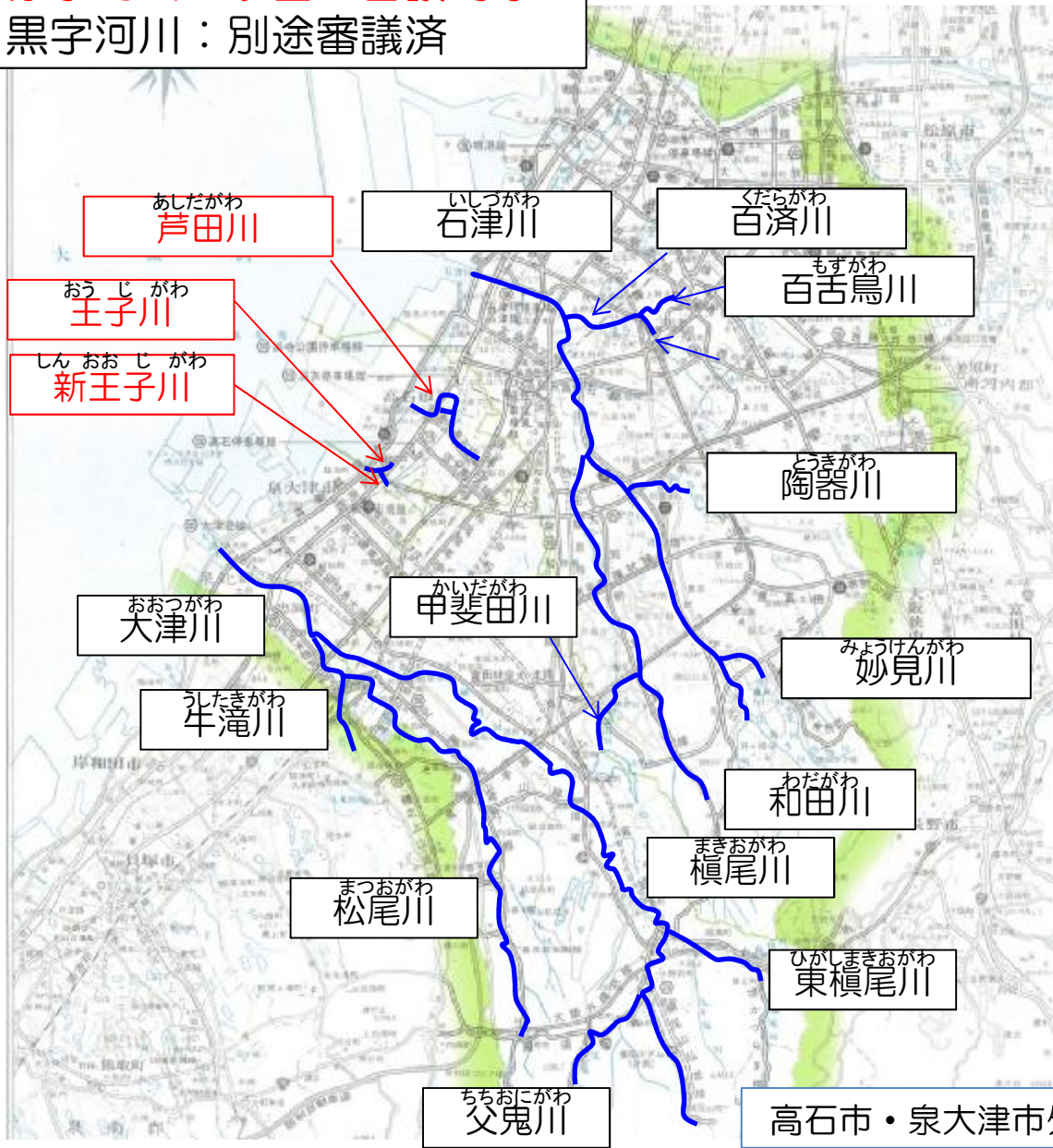
泉州地域における河川の 流域の概要について

1.流域・河川の現状

2.治水の状況

1. 流域の現状 高石市・泉大津市外（鳳土木事務所管内）

赤字河川：今回の審議対象
 黒字河川：別途審議済



	河川名	指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
1	王子川	1.0	12.80
2	新王子川	0.5	11.00
	小計	1.5	—
3	芦田川	2.8	6.68

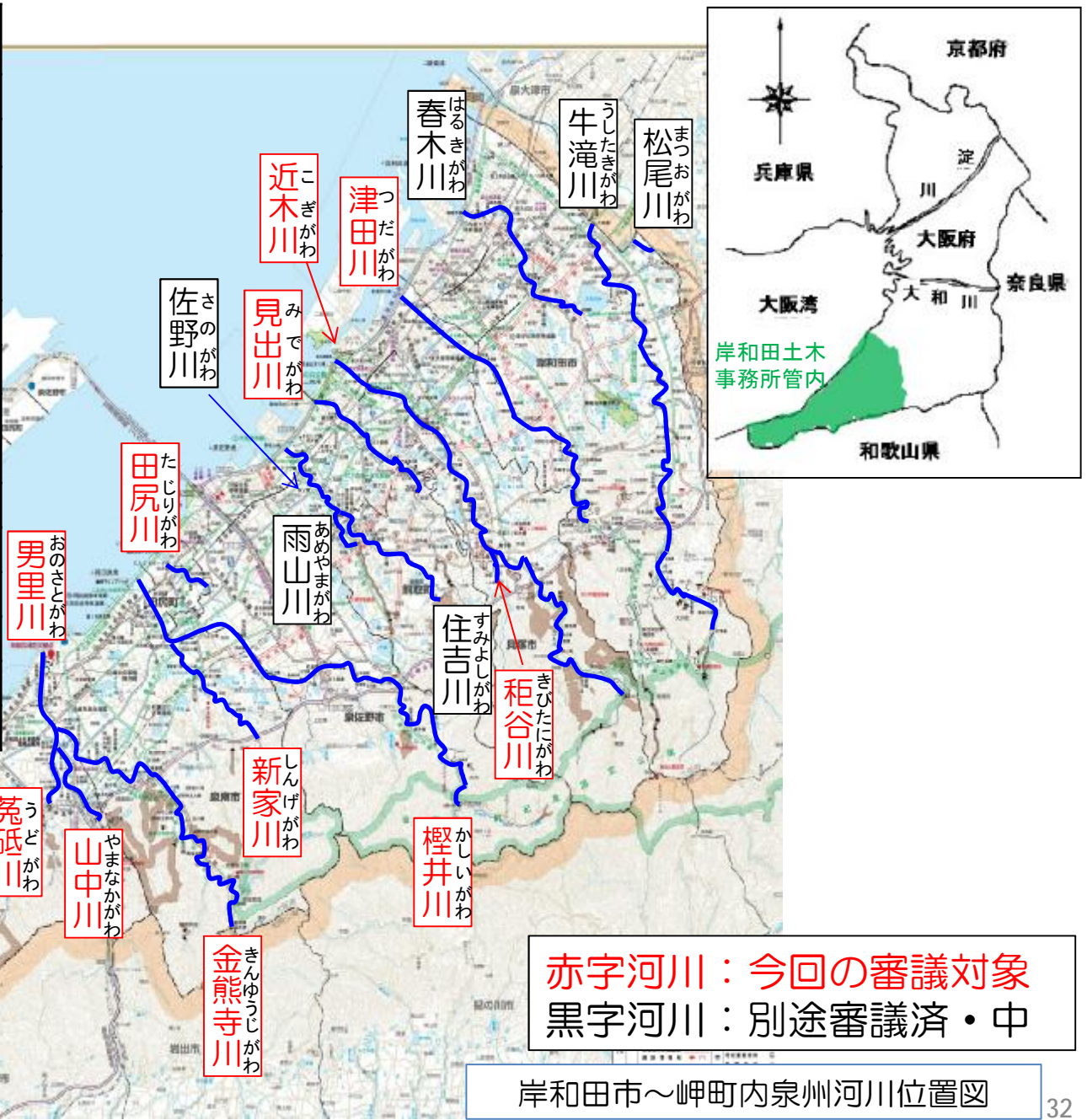
治水は策定済。地震・津波対策のみ審議。



高石市・泉大津市外二級河川位置図

1. 流域の現状 岸和田市～岬町（岸和田土木事務所管内）

	河川名	指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
4	津田川	10.0	26.30
5	近木川	15.4	27.33
6	稲谷川	0.9	6.97
7	見出川	3.9	12.80
8	田尻川	1.4	3.46
9	男里川	2.5	58.66
10	金熊寺川	10.5	25.82
11	山中川	2.5	19.54
12	菟砥川	1.5	12.51
13	茶屋川	2.0	5.62
14	番川	3.0	8.95
15	東川	2.9	14.73
16	西川	1.4	7.94
小計		57.9	—
合計		62.2	—



2. 治水、地震・津波対策の状況

	河川名	資料 ページ数	現況の危険度発生状況（人家に影響ある区間）			治水対策検討必 要の有無 （事務局案）	地震・津波対策 事業実施予定 （現在設計中）	今後の審議の流れ
			50ミリ程度	65ミリ程度	80ミリ程度			
1	王子川	35～36	なし	なし	I	なし	あり	整備計画策定
2	新王子川		なし	なし	なし	なし	対象外	//
3	芦田川	—	H25.11河川整備計画（変更）策定済 地震津波対策の記載がないため、追記の必要あり				あり	整備計画策定
4	津田川	37～38	II・I	II	II	要検討	あり	整備計画策定
5	近木川	39～40	なし	なし	I	なし	あり	整備計画策定
6	梶谷川		なし	なし	なし	なし	対象外	//
7	見出川	41～42	なし	なし	I	なし	あり	整備計画策定
8	田尻川	43～44	なし	なし	I	なし	なし	当面の治水目標・手法
9	男里川	45～46	なし	なし	なし	なし	なし	当面の治水目標・手法
10	金熊寺川		なし	なし	II	要検討	対象外	//
11	山中川		なし	なし	なし	なし	対象外	//
12	菟砥川		なし	なし	なし	なし	対象外	//
13	茶屋川	47～48	なし	なし	なし	なし	なし	当面の治水目標・手法
14	番川	49～50	II	II	II	要検討	なし	当面の治水目標・手法
15	東川	51～52	II・I	II	II	要検討	あり	整備計画策定
16	西川		なし	なし	なし	なし	あり	//
17	檜井川	4～29	なし	なし	なし	なし	なし	整備計画策定
18	新家川		II・I	II	II	要検討	対象外	//

1. 流域・河川の概要

審議対象河川の流域・河川の概要

- ・堺市～岬町にかけての泉州地域で、大阪府管理の二級河川37河川のうち、今回の審議対象は18河川です。

○流域の状況

- ・概ねの河川が、和泉山脈を源とし、上流部は山地・丘陵地、下流部は平野であり、下流部では市街化が進み、沿川には住宅等が連担しています。
- ・下流部では、南海本線やJR阪和線、国道26号など和歌山県と大阪府を結ぶ交通網が基幹を成しています。
- ・概ねの河川において、中流から上流にかけて農地が多く、灌漑用のため池が多く存在します。

○河川の状況

- ・河川延長は20km未満であり、流域面積は概ね50km²未満となっています。
- ・河川幅は、河口部の広い箇所では100m程度あり、複断面構造となっていることが多く、中流から上流部にかけては、概ね10～50m程度であり、ブロック積護岸等による単断面構造が多く見られます。
- ・概ねの河川において、河道内には発達した砂州に植生が見られます。また、取水施設も多く存在します。

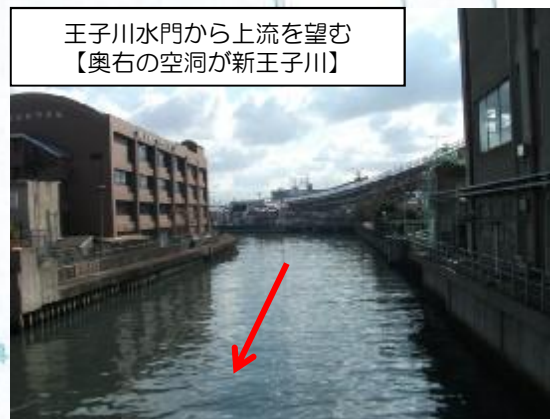
○治水の状況

- ・概ねの河川で、昭和27年7月の泉州地域の洪水を契機に、主に人家に影響のある下流部の区間は河川改修が完了しています。
- ・概ねの河川では、昭和25年のジェーン台風を契機にして、感潮区間において高潮対策事業を実施し、現在は伊勢湾台風級の超大型台風に対応できる防潮堤防が完成しています。

1. 流域の現状 王子川・新王子川

- 王子川水系は、王子川、新王子川の二河川からなる二級水系で、高石市、泉大津市を流れ、その流域は高石市、泉大津市、和泉市に属しています。
- 新王子川は、高石市を流れ、府道の地下を流れるBOX構造の河川です。

河川名	二級河川 指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
王子川	1.0	12.80
新王子川	0.5	11.00
合計	1.5	—



王子川水系位置図

2. 治水の状況 王子川・新王子川

- 王子川は、時間雨量80ミリ程度の降雨で、危険度Ⅰの浸水が発生する程度です。
- 新王子川は、時間雨量80ミリ程度の降雨でも浸水は発生しません。

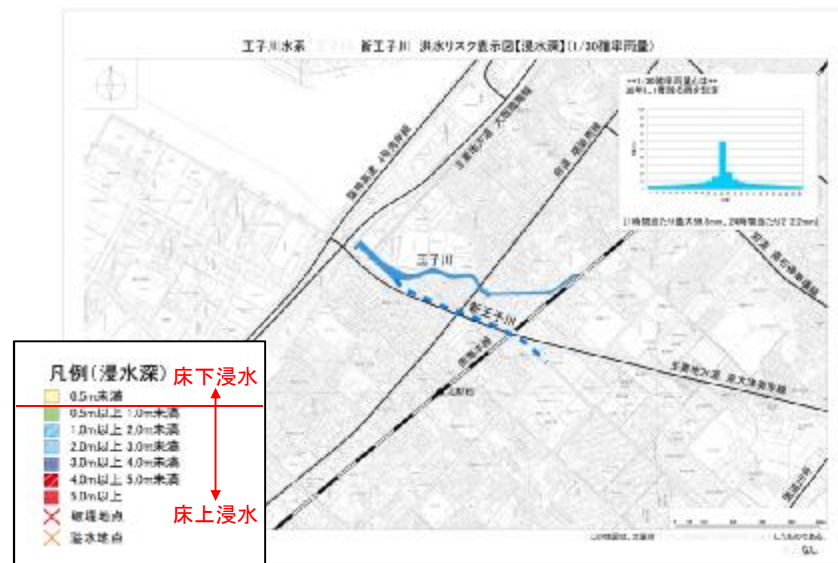
時間雨量50.0ミリ（1/10年）



時間雨量71.5ミリ（1/100年）



時間雨量59.8ミリ（1/30年）



時間雨量78.1ミリ（1/200年）



1. 流域の現状 津田川

- 津田川水系は、単独水系で岸和田市、貝塚市を流れ、その流域は岸和田市、貝塚市に属しています。

河川名	二級河川 指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
津田川	10.0	26.3

昭代橋上流



青木橋下流

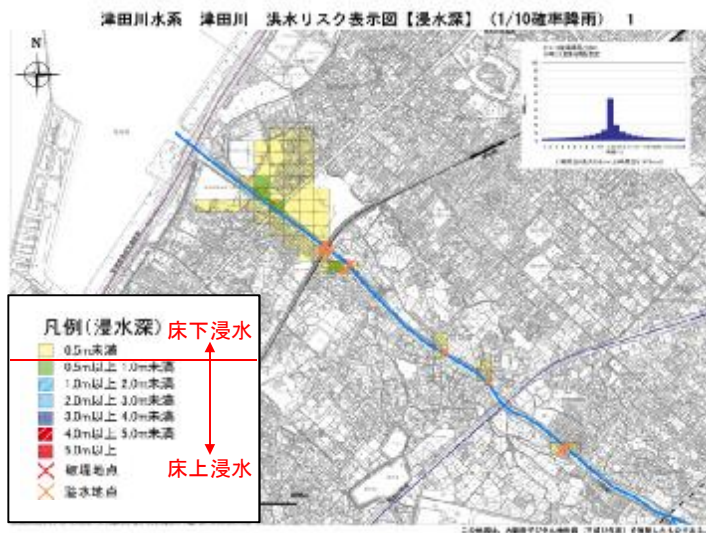


津田川水系位置図

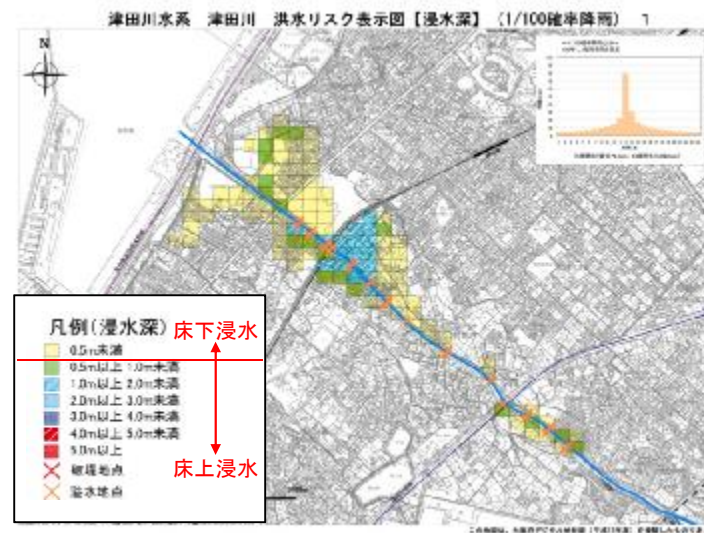
2. 治水の状況 津田川

- 時間雨量50ミリ程度の降雨で、人家に影響ある区間で、危険度Ⅱ・Ⅰの浸水が発生します。

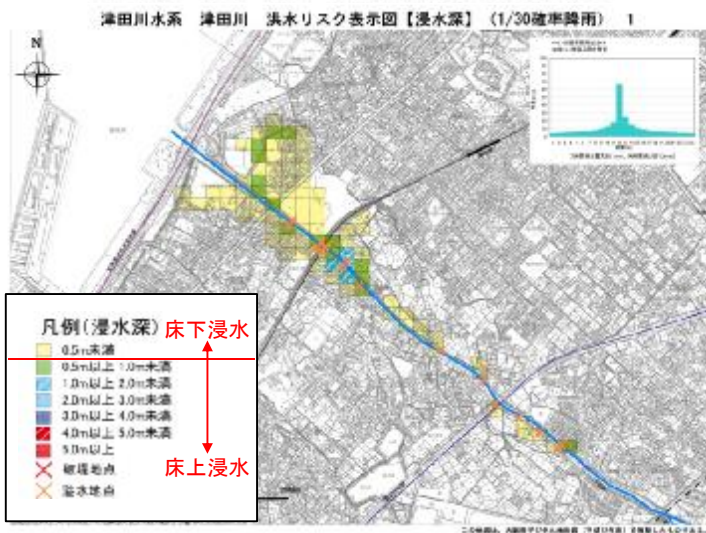
時間雨量53.8ミリ（1/10年）



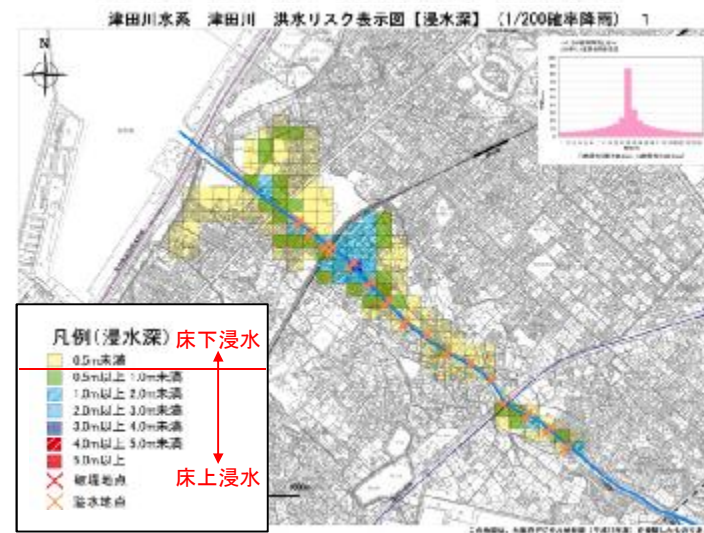
時間雨量79.3ミリ（1/100年）



時間雨量66.1ミリ（1/30年）



時間雨量86.9ミリ（1/200年）



1. 流域の現状 近木川・秬谷川

- 近木川水系は、近木川、秬谷川の二河川からなる二級水系で、貝塚市を流れ、その流域は貝塚市、熊取町、岸和田市に属しています。

河川名	二級河川 指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
近木川	15.4	27.33
秬谷川	0.9	6.97
合計	16.3	—

近木川・貝塚近木川大橋下流



近木川・千石橋上流



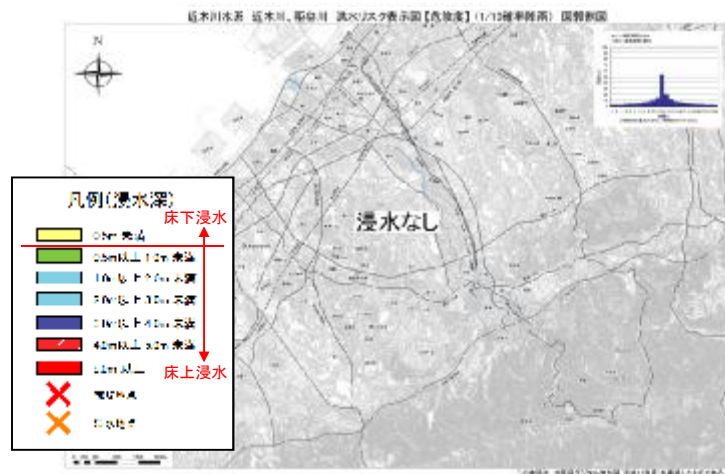
秬谷川・下出橋上流



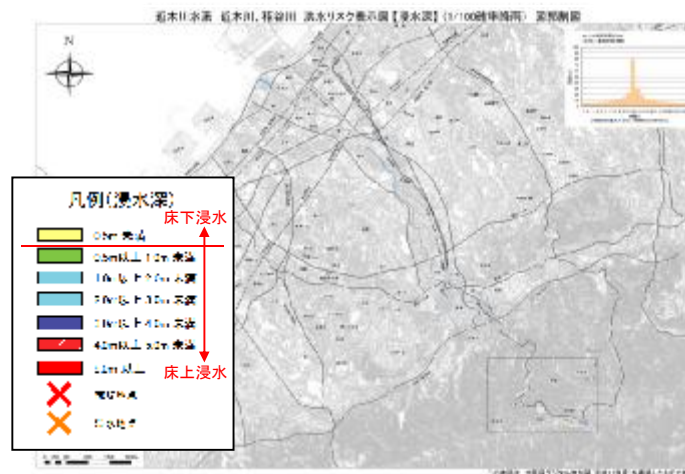
2. 治水の状況 近木川・秬谷川

- ・近木川は、時間雨量80ミリ程度の降雨で、危険度Ⅰの浸水が発生する程度です。
- ・秬谷川は、時間雨量80ミリ程度の降雨でも浸水は発生しません。

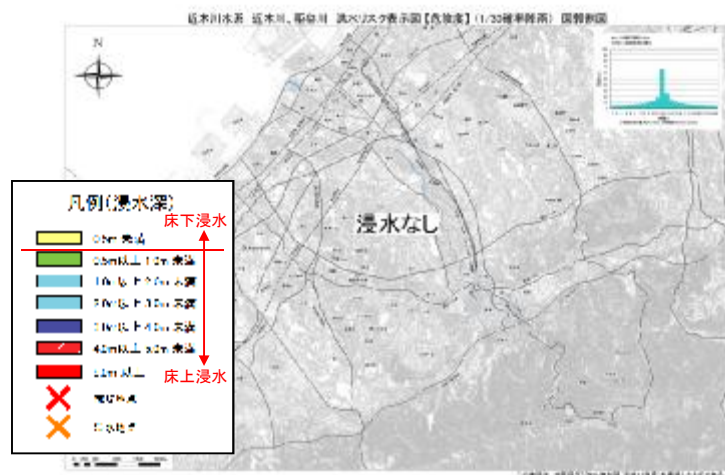
時間雨量53.8ミリ（1/10年）



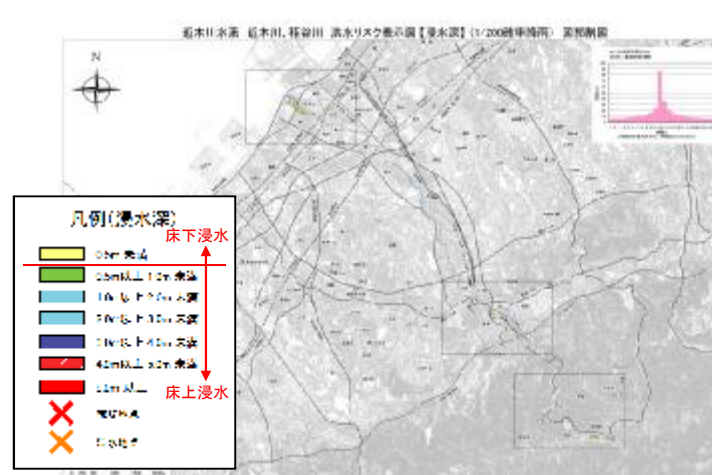
時間雨量79.3ミリ（1/100年）



時間雨量66.1ミリ（1/30年）



時間雨量86.9ミリ（1/200年）



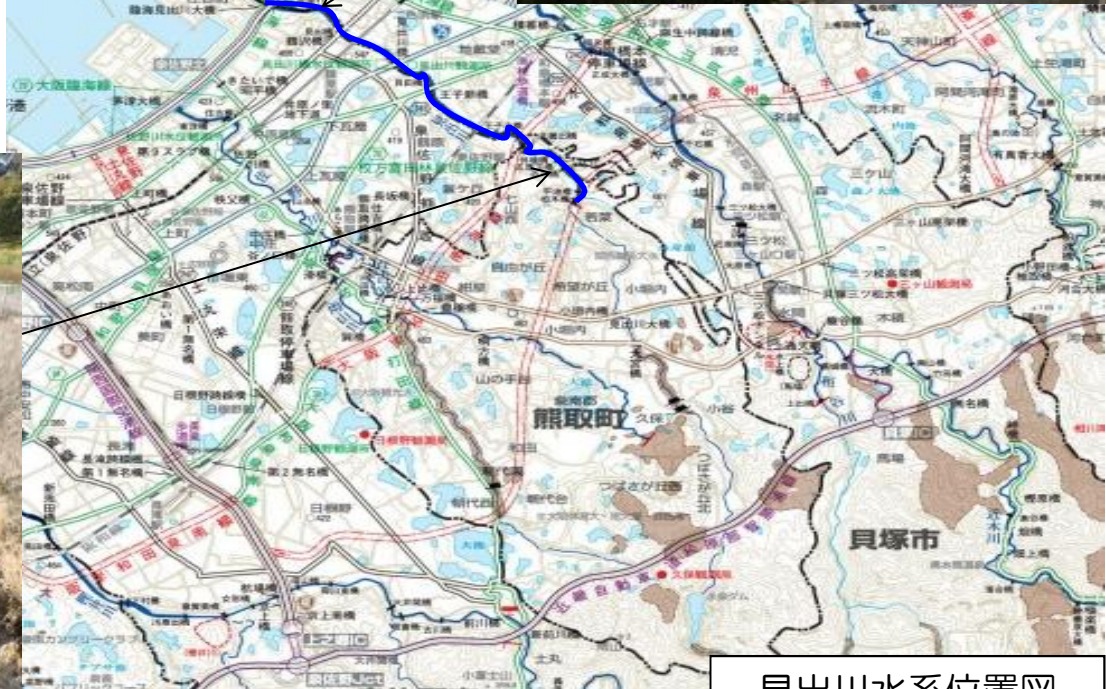
1. 流域の現状 見出川

- 見出川水系は、単独水系で、熊取町、泉佐野市、貝塚市を流れ、その流域は熊取町、泉佐野市、貝塚市に属しています。

河川名	二級河川 指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
見出川	3.9	12.80



見出橋下流



見出川水系位置図

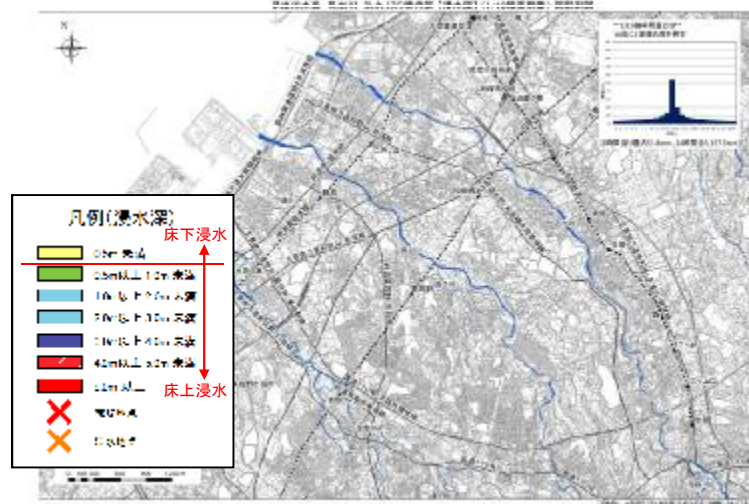


休場橋下流

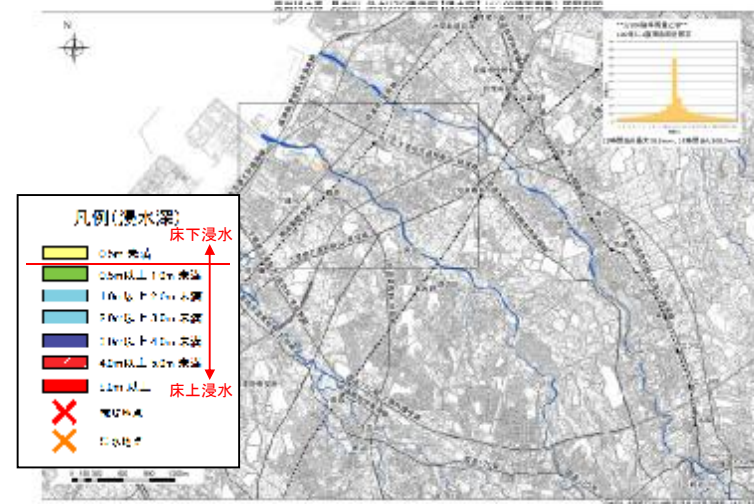
2. 治水の状況 見出川

- 時間雨量80ミリ程度の降雨で、危険度Ⅰの浸水が発生する程度です。

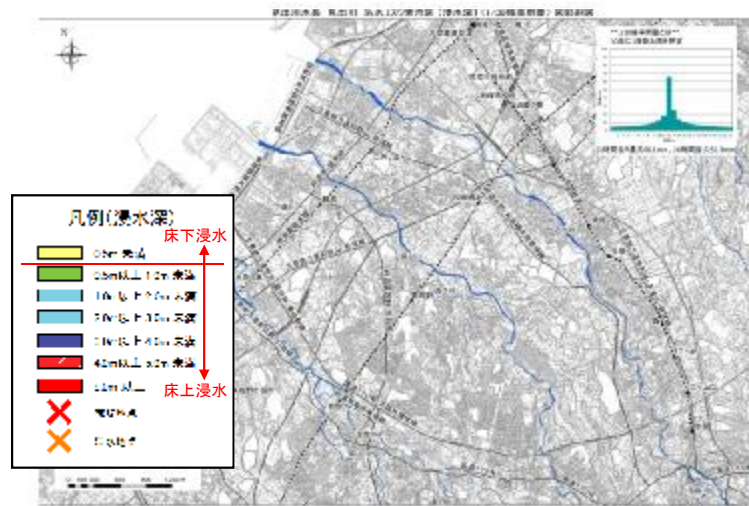
時間雨量53.8ミリ（1/10年）



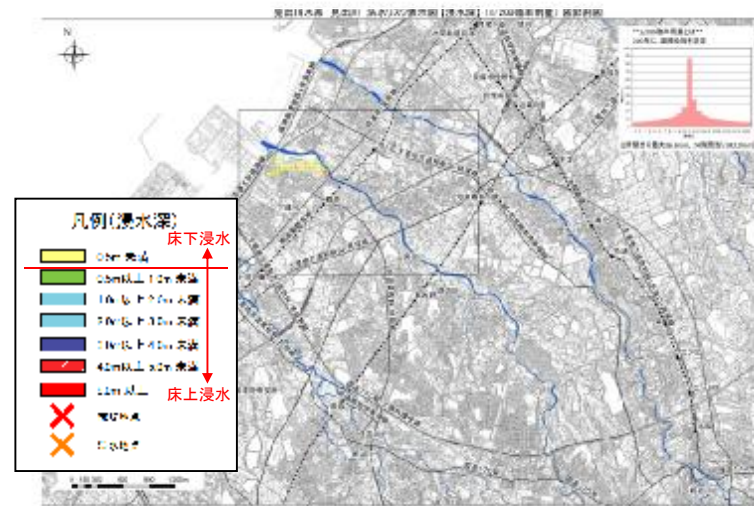
時間雨量79.3ミリ（1/100年）



時間雨量66.1ミリ（1/30年）



時間雨量86.9ミリ（1/200年）



1. 流域の現状 田尻川

- 田尻川水系は、単独水系で、田尻町を流れ、流域は田尻町、泉佐野市に属しています。

河川名	二級河川 指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
田尻川	1.40	3.46



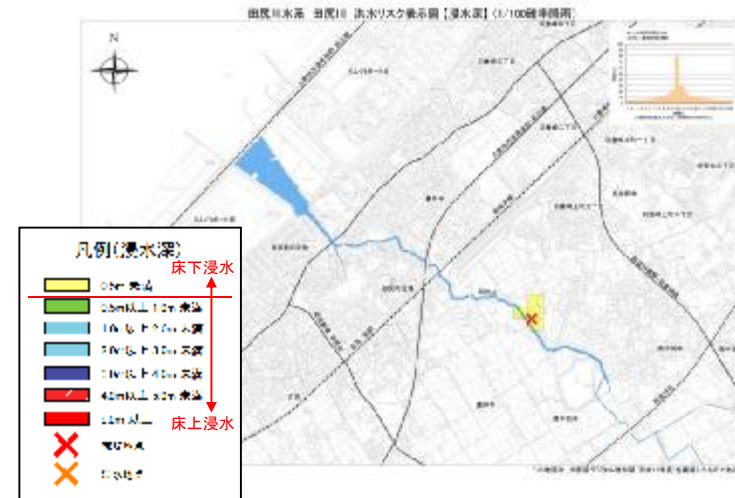
2. 治水の状況 田尻川

- 時間雨量80ミリ程度の降雨で、危険度Ⅰの浸水が発生する程度です。

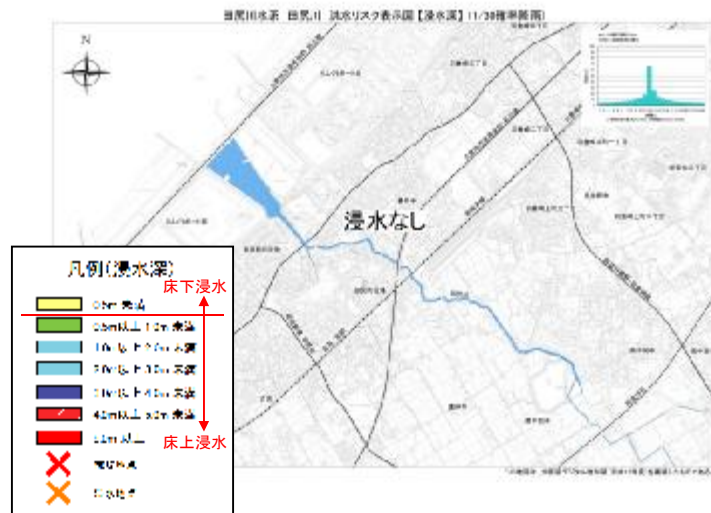
時間雨量53.8ミリ（1/10年）



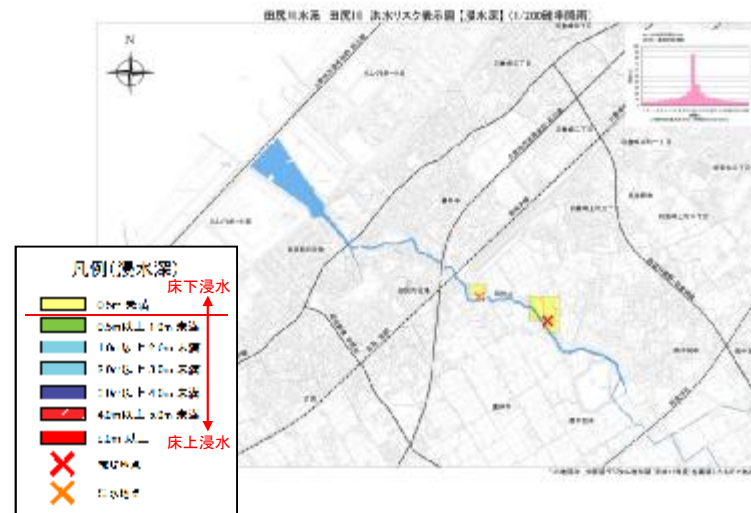
時間雨量79.3ミリ（1/100年）



時間雨量66.1ミリ（1/30年）



時間雨量86.9ミリ（1/200年）

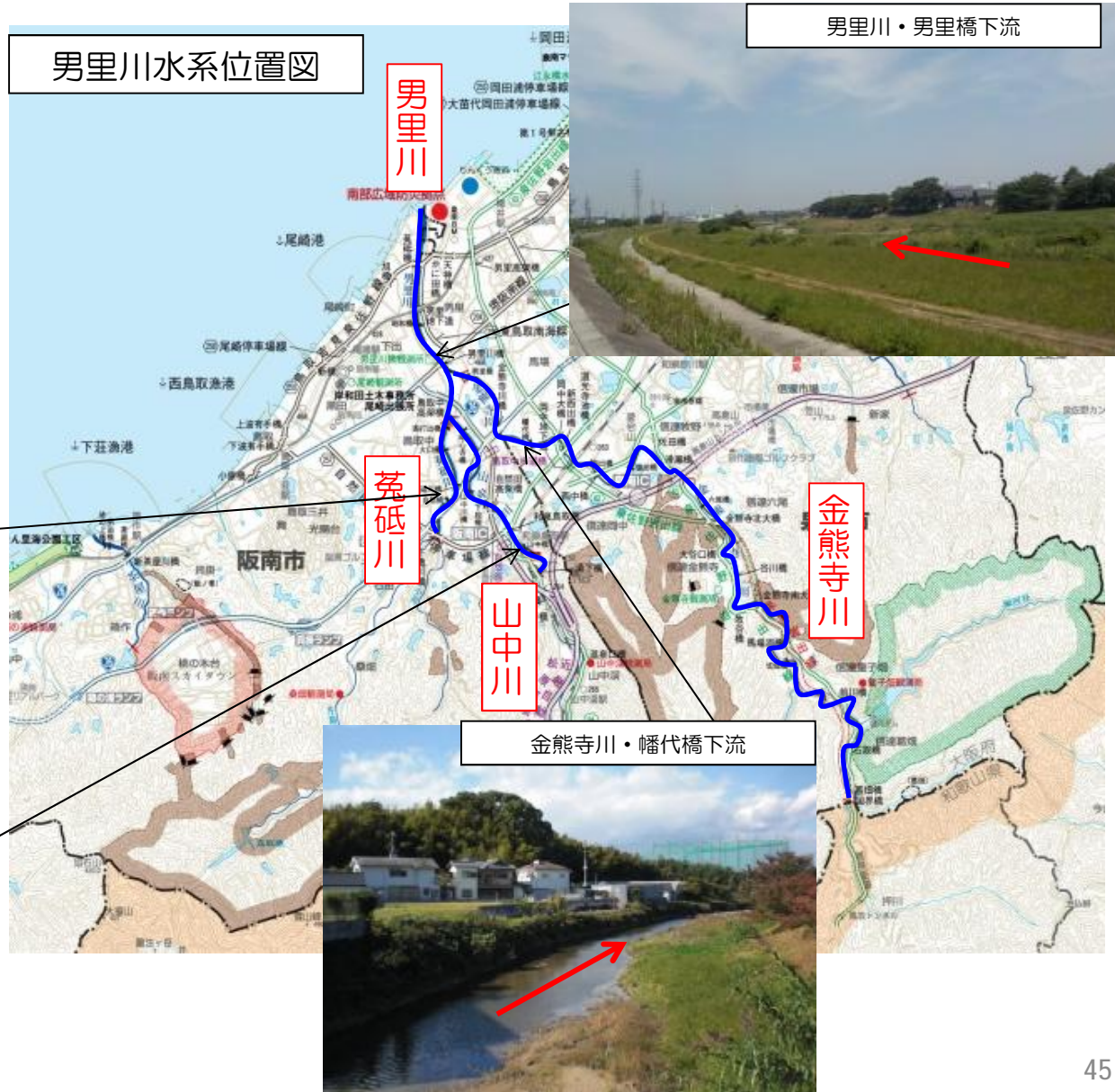


出典：H24年度二級河川近木川外河川氾濫解析検討業務委託

1. 流域の現状 男里川・金熊寺川・山中川・菟砥川

- 男里川水系は、男里川、金熊寺川、山中川、菟砥川の四河川からなる二級水系で、泉南市、阪南市を流れ、その流域は泉南市、阪南市、泉佐野市、和歌山市、岩出市、紀の川市に属しています

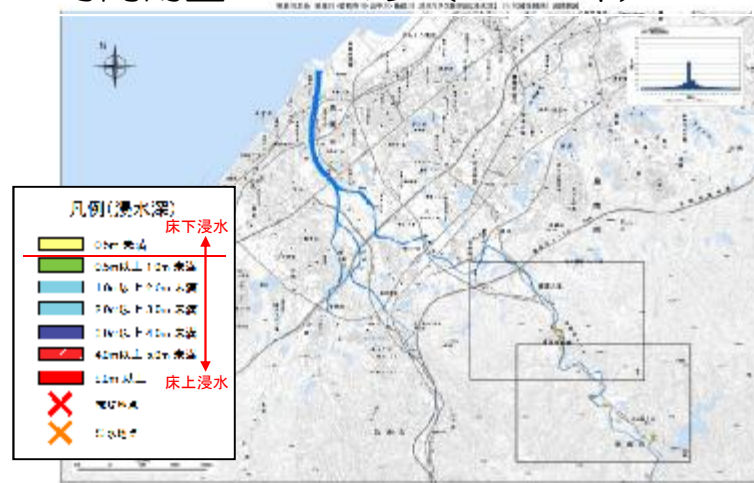
河川名	指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
男里川	2.5	58.66
金熊寺川	10.5	25.82
山中川	2.5	19.54
菟砥川	1.5	12.51
合計	17.0	—



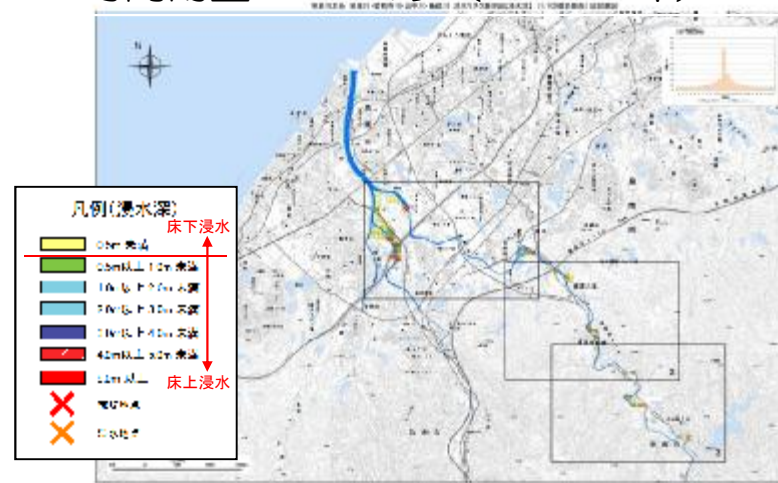
2. 治水の状況 男里川・金熊寺川・山中川・菟砥川

- 金熊寺川は、時間雨量80ミリ程度の降雨で、人家に影響のある区間で、危険度Ⅱの浸水が発生します。
- 山中川は、時間雨量80ミリ程度の降雨で、危険度Ⅱの浸水が発生しますが、人家に影響はありません。
- 男里川、菟砥川は、時間雨量80ミリ程度の降雨でも浸水は発生しません。

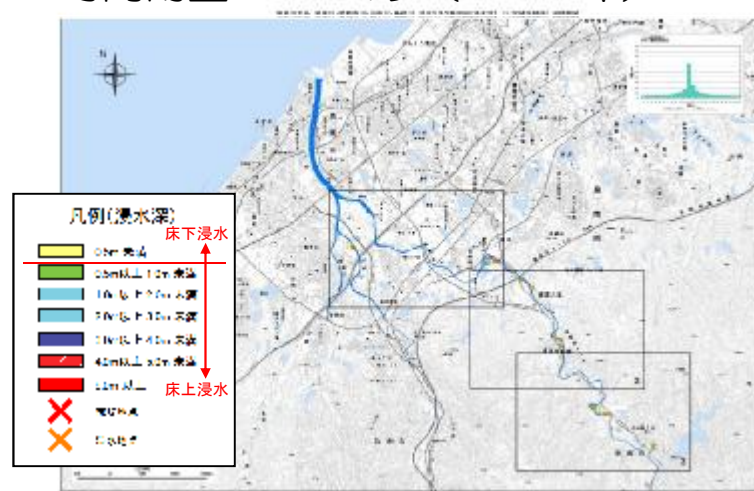
時間雨量53.8ミリ（1/10年）



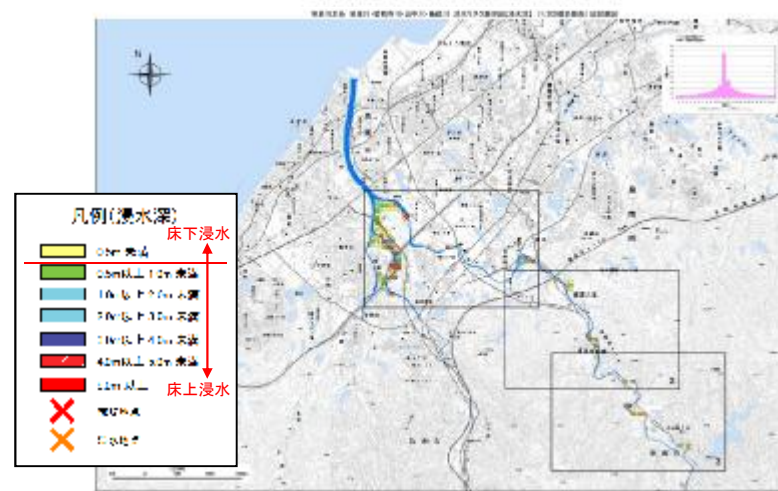
時間雨量79.3ミリ（1/100年）



時間雨量66.1ミリ（1/30年）



時間雨量86.9ミリ（1/200年）



1. 流域の現状 茶屋川

- 茶屋川水系は、単独水系で、阪南市を流れ、流域は阪南市に属しています。

河川名	二級河川 指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
茶屋川	2.0	5.62

茶屋川水系位置図



茶屋川

最上流から下流を望む

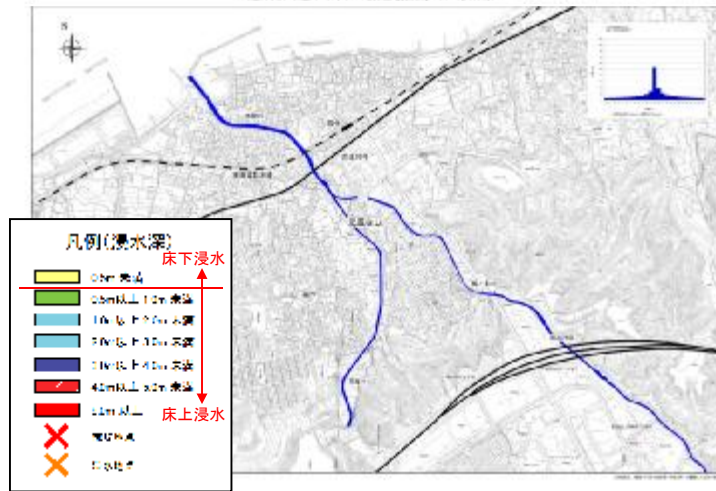
新茶屋川橋上流



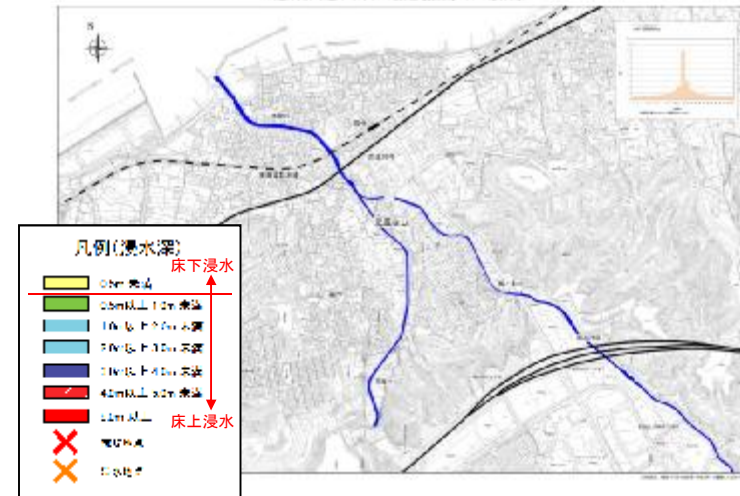
2. 治水の状況 茶屋川

- 茶屋川は、時間雨量80ミリ程度の降雨でも浸水は発生しません。

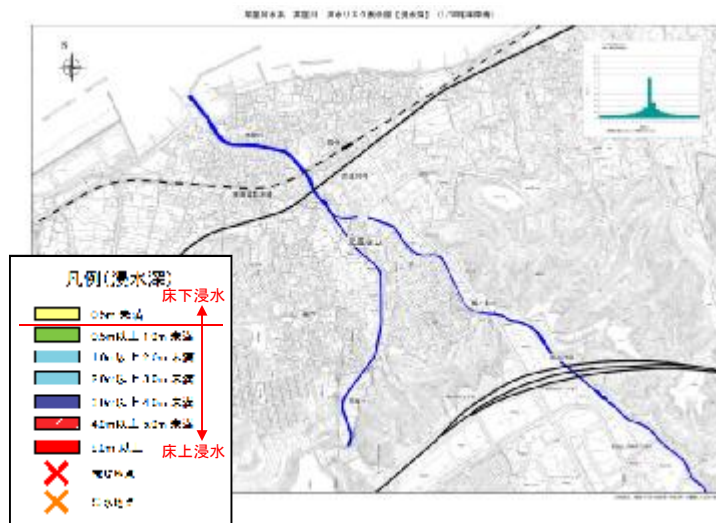
時間雨量53.8ミリ（1/10年）



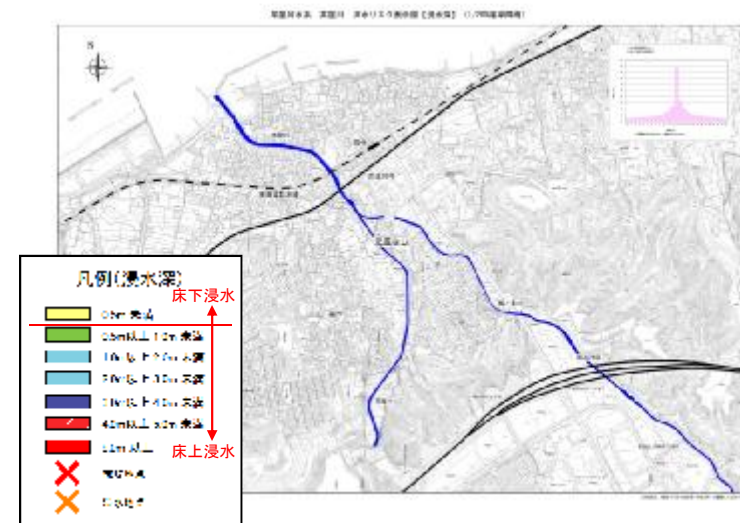
時間雨量79.3ミリ（1/100年）



時間雨量66.1ミリ（1/30年）



時間雨量86.9ミリ（1/200年）



1. 流域の現状 番川

- 番川水系は、単独水系で、岬町を流れ、流域は岬町に属しています。

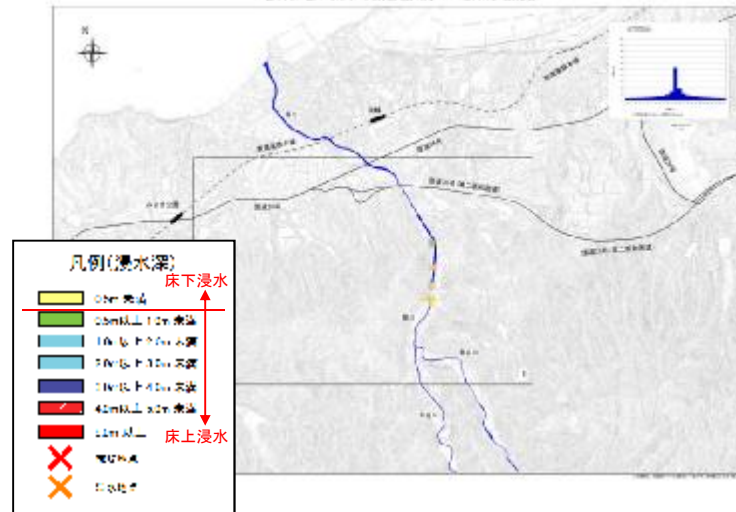
河川名	二級河川 指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
番川	3.0	8.95



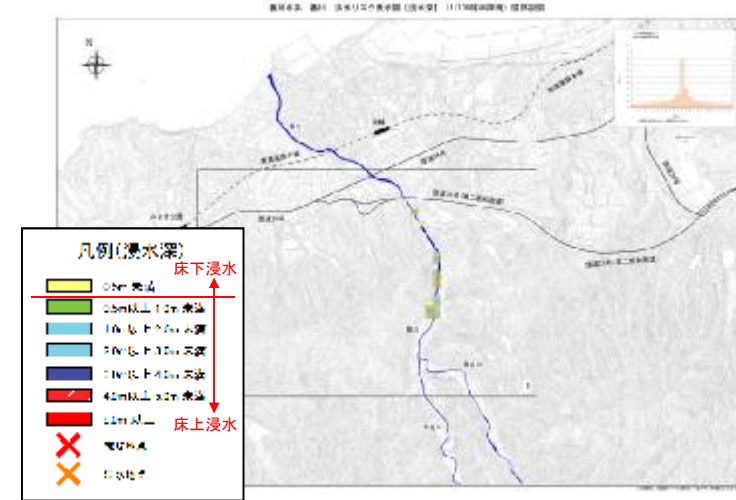
2. 治水の状況 番川

- 時間雨量50ミリ程度の降雨で、人家に影響のある区間で、危険度Ⅱの浸水が発生します。

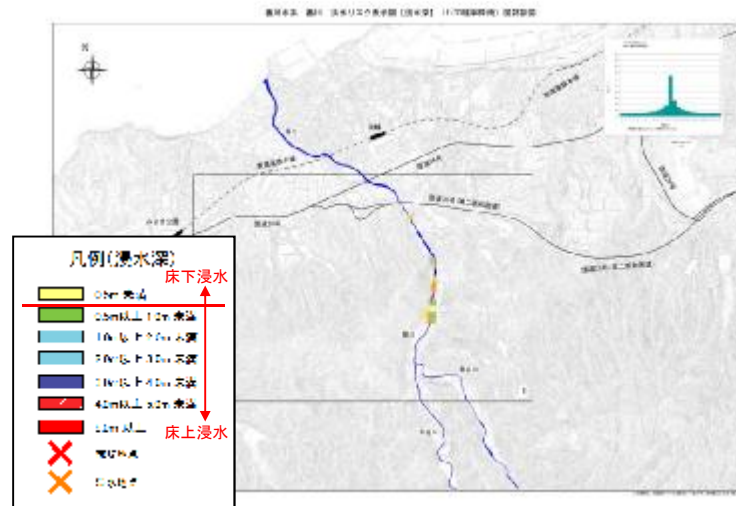
時間雨量53.8ミリ（1/10年）



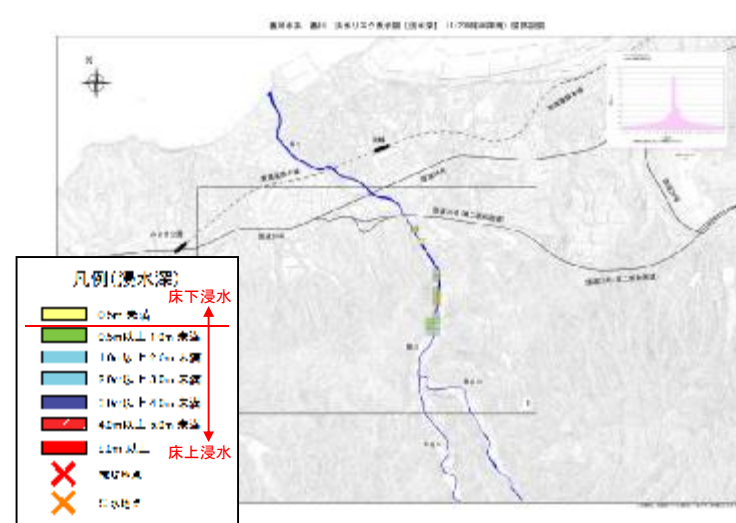
時間雨量79.3ミリ（1/100年）



時間雨量66.1ミリ（1/30年）



時間雨量86.9ミリ（1/200年）



1. 流域の現状 東川・西川

・東川水系は、東川、西川の二河川からなる二級水系で、岬町を流れ、流域は岬町に属しています。

河川名	二級河川 指定延長 (km)	流域面積 (km ²)
東川	2.9	14.73
西川	1.4	7.94
合計	4.3	—



西川・中橋上流



西川・楠木橋下流



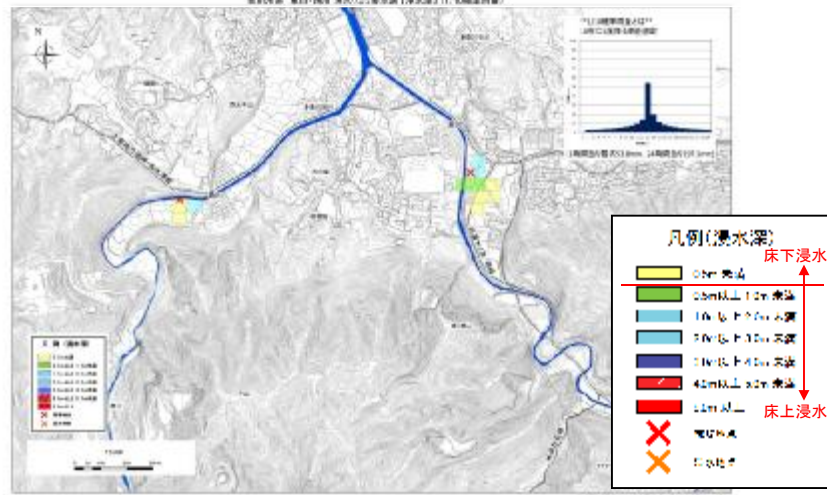
東川・谷川橋下流

東川水系位置図

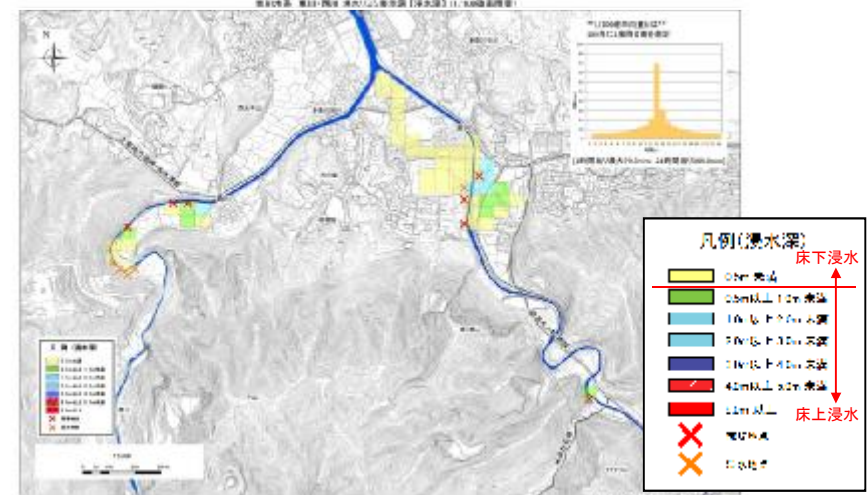
2. 治水の状況 東川・西川

- 東川は、時間雨量50ミリ程度の降雨で、人家に影響のある区間で、危険度Ⅱ・Ⅰの浸水が発生します。
- 西川は、時間雨量50・65・80ミリ程度の降雨で、危険度Ⅱ・Ⅰの浸水が発生しますが、人家に影響はありません。

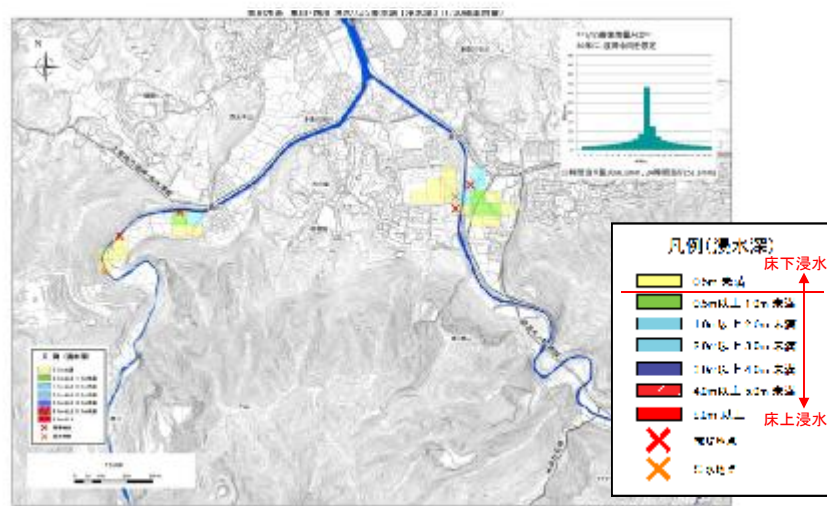
時間雨量53.8ミリ（1/10年）



時間雨量79.3ミリ（1/100年）



時間雨量66.1ミリ（1/30年）



時間雨量86.9ミリ（1/200年）

